別海町議会会議録

第1号(平成29年 3月 9日)

○議事日程

日程第 1		会議録署名議員の指名
日程第 2		議会運営委員会報告
日程第 3		会期決定の件
日程第 4		諸般の報告
日程第 5		行政報告
日程第 6		平成29年度行政執行方針
日程第 7		平成29年度教育行政執行方針
日程第 8		提出案件の概要説明
日程第 9	議案第 9号	平成28年度別海町一般会計補正予算(第5号)
日程第10	議案第10号	平成28年度別海町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
日程第11	議案第11号	平成28年度別海町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
日程第12	議案第12号	平成28年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)
日程第13	議案第13号	平成28年度別海町介護保険特別会計補正予算(第2号)
日程第14	議案第14号	平成28年度別海町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
日程第15	議案第15号	平成28年度町立別海病院事業会計補正予算(第2号)
日程第16	議案第16号	平成28年度別海町水道事業会計補正予算(第3号)
日程第17	選挙第 1号	別海町選挙管理委員及び補充員の選挙について

○会議に付した事件

日程第 1		会議録署名議員の指名
日程第 2		議会運営委員会報告
日程第 3		会期決定の件
日程第 4		諸般の報告
日程第 5		行政報告
日程第 6		平成29年度行政執行方針
日程第 7		平成29年度教育行政執行方針
日程第 8		提出案件の概要説明
日程第 9	議案第 9号	平成28年度別海町一般会計補正予算(第5号)
日程第10	議案第10号	平成28年度別海町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

号)

- 日程第11 議案第11号 平成28年度別海町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第12 議案第12号 平成28年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第13 議案第13号 平成28年度別海町介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 日程第14 議案第14号 平成28年度別海町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 日程第15 議案第15号 平成28年度町立別海病院事業会計補正予算(第2号)
- 日程第16 議案第16号 平成28年度別海町水道事業会計補正予算(第3号)
- 日程第17 選挙第1号 別海町選挙管理委員及び補充員の選挙について
- 追加日程第1 議案第42号 平成28年度別海町一般会計補正予算(第6号)

○出席議員(16名)

1番	小 椋 哲 也	2番	外 山 浩 司
3番	大 内 省 吾	4番	木 嶋 悦 寛
5番	松 壽 孝 雄	6番	森 本 一 夫
7番	今 西 和 雄	8番	西 原 浩
9番	沓 澤 昌 廣	10番	小 林 敏 之
11番	瀧 川 榮 子	12番	戸 田 憲 悦
13番	中 村 忠 士	14番	渡 邊 政 吉
副議長	15番 佐 藤 初 雄	議 長	16番 松 原 政 勝

○欠席議員(0名)

○出席説明員

町 長	曾 根 興 三	副 町 長	佐 藤 次 春
教 育 長	伊 藤 多加志	代表監査委員	志 賀 正 章
監 査 委 員	田 村 秀 男	選挙管理委員長	高 崎 好 藏
農業委員会会長	小 野 榮 一	総 務 部 長	竹 中 仁
福 祉 部 長	河 嶋 田鶴枝	産 業 振 興 部 長	佐 藤 則 夫
建設水道部長	宮 越 正 人	教 育 部 長	中 谷 隆 弘
病院事務長	大 槻 祐 二	会 計 管 理 者	田 保 圭 乙
監査委員事務局長	佐 藤 敏	農 委 事 務 局 長	山 崎 茂
総 務 部 次 長	浦 山 吉 人	建設水道部次長	金 田 秀 幸
教 育 部 次 長	下 地 哲	総 務 課 長	浦 山 吉 人
総合政策課長	佐々木 栄 典	税 務 課 長	中 村 公 一
防災交通課長	宮 本 栄 一	福 祉 課 長	山 田 一 志
介護支援課長	今 野 健 一	町 民 課 長	青 柳 茂
保 健 課 長	小 湊 昌 博	老 健 事 務 長	伊 藤 輝 幸
農 政 課 長	門 脇 芳 則	水産みどり課長	干 場 富 夫
商工観光課長	川 畑 智 明	管 理 課 長	伊 藤 一 成

建築住宅課長 山 岸 英 一
上下水道課長 小 島 実
生涯学習課長 下 地 哲
図書館長 千 葉 宏
財政課主幹 寺 尾 真太郎

事業課長 金 田 秀 幸
学務課長 入 倉 伸 顕
中央公民館長 石 川 誠
病院事務課長 三 戸 俊 人

○議会事務局出席職員

事務局長 登 藤 和 哉 主 幹 田 畑 直 樹

○会議録署名議員

10番 小 林 敏 之
12番 戸 田 憲 悦

11番 瀧 川 榮 子

◎表彰状の伝達

○**議会事務局長（登藤和哉君）** 皆さんおはようございます。会議に入ります前に表彰状の伝達を行いたいと思います。

このたび、全国町村議会議長会主催の第31回町村議会広報コンクールにおきまして、本町の議会だよりが名誉ある表紙写真賞の銀賞を受賞いたしました。

このコンクールは全国町村議会広報紙291紙の中から選出されたもので、大変価値のあるものでございます。

それでは、表彰状の伝達を議長から行います。

広報広聴常任委員会木嶋委員長、瀧川副委員長、御登壇ください。

（表彰状の伝達）

○**議会事務局長（登藤和哉君）** 以上で、表彰状の伝達を終わります。

開会 午前 9時56分

◎開会宣告

○**議長（松原政勝君）** 会議に入ります前に申し上げます。

今会期中は、広報及び報道関係者の写真撮影を許可しておりますので、申し上げます。

ただいまから平成29年第1回別海町議会定例会を開会いたします。

ただいま出席している議員は16名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○**議長（松原政勝君）** 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第126条の規定により、議長において指名いたします。

10番小林議員、11番瀧川議員、12番戸田議員、以上3名を指名いたします。

◎日程第2 議会運営委員会報告

○**議長（松原政勝君）** 日程第2 議会運営委員長から委員会の協議概要について報告があります。

なお、本件は報告のみであります。

議会運営委員長。

○**議会運営委員長（西原 浩君）** それでは、議会運営委員会の報告をいたします。

2月27日及び3月2日に開催いたしました議会運営委員会で、第1回定例会に係る運営について協議をいたしましたので、その内容について報告申し上げます。

第1回定例会に町長から提出されております案件は、全部で41件であります。

提出されました議案は、平成29年度各会計予算8件、平成28年度各会計補正予算が8件、条例の一部改正が19件、条例の廃止が2件、工事請負契約の締結が2件、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更が1件、町道の路線認定及び廃止が1件であります。

これら提出案件のうち、議案第1号から議案第8号までの8件を除く33件について

は、委員会への付託は省略し、本会議において質疑、討論・採決すべきものと決定いたしました。

また、特別委員会に付託する「平成29年度各会計予算」については、全議員で構成する「平成29年度各会計予算審査特別委員会」を設置して審査すべきものと決定いたしました。

なお、特別委員会の委員長には戸田議員、副委員長には渡邊議員を候補者として選任いたしました。

正副委員長の互選については、議長指名により行いますので御了承願います。

次に、会期及び議事日程であります。

本定例会の会期は、3月9日から3月17日までの9日間とし、初日には、町長及び教育長の行政執行方針の説明があります。

その後、町長提出議案のうち、先議の申し出があります議案第9号から議案第16号までの「平成28年度各会計補正予算」8件についての内容説明、質疑を行い、討論・採決を行います。初日の最終日程として、本年3月18日で任期満了となる選挙管理委員と補充員の選挙を行います。

二日目には、残りの町長提出議案の33件について、内容説明と質疑を行うことといたしました。

3月13日には、一般質問を行います。

なお、3月14日から16日までの3日間は休会とし、14日は議案調査のため「各常任委員会」を行います。

15日、16日の二日間は「予算審査特別委員会」を行います。15日は一般会計の審査、16日は特別会計及び企業会計の審査を行い、その後、会計ごとに討論・採決を行うこととしています。

最終日の17日は、特別委員会に付託した議案の採決、町長提出議案の討論・採決を行い、その後、議員提出案件等の内容説明・質疑、討論・採決を行うことと決定しました。

また、定例会終了後には、本年度退職の幹部職員の挨拶を行います。

次に、一般質問であります。

通告を受理しております一般質問は、中村議員、木嶋議員、外山議員、瀧川議員、小椋議員の5名で、全員が一問一答方式であります。

質問の順番は、会議規則等運用規定に基づき通告順に行うこととしました。

議員各位、理事者におかれましては、活発な政策議論が行われるとともに、効率的な議会運営と町民にわかりやすい質問や答弁内容に配慮されますようお願い申し上げます。

次に、請願・陳情等についてであります。

受理いたしました請願・陳情等に係る対応について、慎重に協議をいたしました。提出された陳情等の写しは議員控室で閲覧できますので、賛同される議員は議員発議により提出願います。

次に、議員・委員会提出案件であります。

現在、予定されております提出案件は、議員提出案件が1件であります。

「日ロ両国における相互信頼関係の構築等を求める意見書」については現在の情勢に鑑み、西原議員から提案されることになっております。定例会最終日に提案されることになっております。

最後に、「反問権」についてであります。町長ほか町の職員が、議長の許可により議

員の質問に対して、論点・争点を明確にするためのもので、議会での議論が活性化し、町民の皆様に解りやすくするために導入したものであります。

町長を初め執行機関の並びに議員各位には、その趣旨を十分理解いただきますようお願いいたします。

以上で、議会運営委員会で協議いたしました内容の報告といたします。

◎日程第3 会期決定の件

○議長（松原政勝君） 日程第3 会期決定の件を議題といたします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から3月17日までの9日間といたしたいと思えます。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は、本日から3月17日までの9日間と決定いたしました。

◎日程第4 諸般の報告

○議長（松原政勝君） 日程第4 諸般の報告を行います。

諸般の報告は、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第5 行政報告

○議長（松原政勝君） 日程第5 行政報告について町長から説明があります。

町長。

○町長（曾根興三君） 第1回町議会定例会にありまして、行政報告をいたします。

本日、平成29年第1回の町議会定例会を招集させていただきました。

議員の皆様におかれましては、時節柄大変お忙しい中、御出席を賜りまことにありがとうございます。

定例会開会に当たり、行政報告を申し上げます。

まず、産業の動向についてです。

酪農・畜産情勢ですが、町内の生乳生産量は、昨年1月から12月で47万5,600トン、前年比で101.4%、生産額では461億4,000万円、前年比103.0%となっています。

乳量は、前年を6,600トン上回りましたが、8月以降は暑熱や牧草の品質低下が影響して、前年を下回る状況となりました。

生乳生産農家戸数は、昨年2月から本年1月までの1年間で23戸が離脱しており、その内訳は後継者問題が11戸、営農不振が2戸、病気事故が6戸、その他が4戸となっています。

また、この間に6戸が新規就農していることから、2月1日現在の農家戸数は678戸となっています。

次に、水産業の状況についてです。

昨年、1月から12月までの町全体の水揚高については、数量で3万2,200トン、対前年比83%、金額では126億8,600万円、対前年比87%となっています。

秋サケ漁が近年に無い不漁の年となりましたが、水揚金額においては、ホタテ価格に支

えられ両漁協ともに事業計画を上回る結果となっています。

また、昨年12月から始まっております冬期ホタテ漁の状況については、台風や低気圧の影響により、生息環境等の変化から貝の成長や歩留まりが悪かったことに加え、円高の影響から輸出が停滞し、昨年同期と比較して、キロ当たり単価が120円ほど下回っている状況となっています。

次に、エゾシカの駆除状況ですが、昨年も春と秋に銃器による駆除を実施し、合計で1,907頭を駆除しました。

また、12月から行っている野付半島及び走古丹地区での「囲いワナ」による越冬地対策については、今年度から民間事業者の協力を得て、捕獲施設を増設して個体数調整に努めています。

2月末までの捕獲頭数は、昨年同期より299頭多い509頭を捕獲しており、3月末まで実施する予定としています。

次に、観光と商工業についてです。

1月末現在の観光客の入れ込み数は、昨年開催された各種イベントが、比較的天候に恵まれたこともあり、27万7,000人と、前年より1.7%増加しています。

商工業では、1月末現在の主な事業の実施状況として、町内建築業者の受注機会確保を目的とした「地域貢献中小企業支援事業」で、前年を13件上回る、55件の申請がありました。

また、開業支援、経営拡大助成等を目的とした「起業家支援事業」が5件、商店街活性化を目的とした「にぎわい商店街創造事業」が12件の申請となっています。

次に、子ども・子育てについてですが、町立中春別へき地保育園は、子ども子育て支援事業計画に基づき、新年度から認定こども園の「保育園型」に移行するよう手続きを進めてきたところです。

このたび、2月24日付けで北海道の認定を受け、4月から認定こども園として運営を開始します。

次に、高齢者の見守り活動についてですが、今般、北海道新聞社・釧路地方道新会「二十会（はたちかい）」から、別海町配達地域の見守り活動について協力の申し出があり、本日協定を結ぶ運びとなりました。

高齢者の方が安心して住み続けられる地域づくりは、行政、地域住民、民間事業者等との連携が重要と考えていますので、この協定締結が高齢者の見守り活動の更なる強化につながることを期待しています。

次に、除雪状況についてです。

本年度は、昨年11月に初雪を観測し、12月には88センチの降雪を記録するなど、昨年度に比べ、民有車を含む出動が1ヶ月程度早まりました。

これまでに、全除雪車の出動は7日を数えておりますが、大きな交通障害や生乳の廃棄なども無く、順調に作業を進めています。

除雪委託料の執行状況は、1億8,000万円を予算措置した中、2月末で約1億4,800万円の支出で、残額は約3,200万となっています。

今後におきましても、冬期交通の安全を確保し、町民の生活や産業活動などに支障が生じないように万全を期してまいります。

最後に、北方領土関係についてです。

既に御承知のことと思いますが、昨年の日ロ首脳会談において「北方四島における共同

経済活動を行うための特別な制度に関する協議の開始」について合意がされたことから、隣接地域としては、この共同経済活動に積極的に関与するということを確認しています。

今般、1市4町で構成する「北方領土隣接地域・振興対策・管内市町連絡協議会」が主体となって考え方をまとめ、先日、議長にも同行いただき、関係する国会議員及び各省庁に要請を行ったところです。

今後、日ロ間で協議が進められますが、国の動向を注視しながら、隣接地域としてさまざまな分野において積極的に取り組むこととしておりますで、議員の皆様のお理解と御協力をお願いいたします。

以上をもちまして、行政報告とさせていただきます。

よろしくお願い申し上げます。

◎日程第6 平成29年度行政執行方針

○議長（松原政勝君） 日程第6 平成29年度行政執行方針について説明があります。町長。

○町長（曾根興三君） 平成29年度の町政執行に対する所信を申し上げます。

初めに、私は就任した昨年6月、第6次別海町総合計画を計画完了まで推進していくと、執行方針で申し上げたところです。

平成29年度は、その中にあっても、私の町政に対する熱い思いである「子育て世代への応援」「老後の安心」「活力ある産業の維持」3点において、「速やかに実行しなければならないこと、実行できること」について積極的に検討し、取り組みを進めてまいります。

平成21年度にスタートした行政運営の総合的な指針である第6次別海町総合計画は、残すところ2年の計画期間となりました。

これまで実施してきた事業の検証や評価を進め、平成31年度から始まる「第7次別海町総合計画」策定に向けて、「経済・福祉・教育が充実し安心して暮らせるふるさと」「住むことで心豊かになるふるさと」をつくり上げる計画となるよう、本年度から具体的な作業を開始します。

次に、主要施策の推進について申し上げます。

最初に、活力ある産業のまちについてでございます。

農業の振興について、TPP、環太平洋パートナーシップ協定に関しては、米国が離脱を正式に通知したことから、今後は2国間の貿易交渉に転換すると予想されます。

また、日本・EU経済連携協定交渉も協議されていることから、今後も政府の対応を注視する必要があります。

国際交渉の進展による将来への不安から離農者が増加しないよう、様々な営農形態の酪農家が、将来に希望を持って取り組めるよう、国に対して万全な対策を求めています。

農業の担い手確保は最重要課題の一つですが、町、農協等の関係機関で構成する「別海地域担い手育成総合支援協議会」を中心として、大都市圏域の学生などを対象にした酪農体験の働きかけに加え、新たに子育て世代をターゲットにした研修生の確保を図るとともに、次世代を担う農業後継者に対して支援を行います。

酪農研修牧場は、担い手確保の最前線として開設から20年が経過しましたが、施設及び機器等の老朽化が進んでいるとともに、増設が必要な施設もあることから、計画的な整備を行ってまいります。

また、日本一の酪農の町として、農業生産基盤の一層の充実が必要なことから、豊富な自給飼料基盤を活かした草地型酪農を推進するため、草地基盤の生産性向上に向けた取り組みを支援します。

森林環境の保全は、安全で安心な農水産物の生産には欠かせない水を育む源であり、環境保護の役割を担う適切な森林整備を進めるためには、その体制づくりが重要です。

特に、森林整備を計画的に行うには、林業従事者の確保が必要不可欠であり、担い手確保対策として高性能林業機械の整備等を支援し、林業の振興を図ります。

水産業の振興については、藻場や干潟の保全活動による良好な漁場環境の整備に努め、資源管理型漁業の推進を積極的に支援して漁家経営の安定化を図ります。

また、北海道が事業主体で実施する、漁港の長寿命化を目的とした町内4漁港の整備事業を支援するとともに、風蓮湖内の物揚場整備に着手し、衛生管理と漁業生産活動の効率化を図ります。

地場産水産物の付加価値向上と流通対策については、新製品の開発と、製品販売の商談やPR活動といった消費拡大、販路拡大への取り組みを支援し、さらなる別海ブランドの確立と強化に努めます。

観光振興については、昨年度に引き続き外部アドバイザーを招聘し、ドライブで訪れる観光客を対象とした実証実験を行い、町内経済団体と連携しながら産業、食、自然景観、野鳥などの地域資源を活用した体験型観光の構築を目指します。

ふるさと交流館は、老朽化が著しいことから保全計画に基づき施設の改修を継続していくとともに、本年8月をめどに今後の運営の方向性を示したいと考えています。

中小企業の振興については、別海町中小企業振興基本条例を基本理念とし、中小企業融資や新規起業支援、地元企業の受注機会の確保、商店街の活性化、担い手育成など中小企業振興対策を引き続き実施します。

また、平成29年度をもって終了する中小企業利子補給金の特例による増額は、融資枠の増額を含めて検討を行います。

次に、自然と共生するまちについてでございます。

健全な畜産環境の保持を目的として、平成26年度に制定した「別海町畜産環境に関する条例」については、本年4月1日から本格施行となることから、基幹産業である農業と漁業が今後とも地域経済を支える産業として、健全な発展を遂げることができるよう取り組みます。

また、地域資源を有効に活用するために、引き続きバイオマスエネルギー及び新エネルギーの利活用に取り組むなど、環境保全型農業を推進します。

ごみ処理については、分別リサイクルの徹底を進めリサイクル率30%を目指し、「廃食用油」と「貝殻」の分別収集を開始します。

また、生ごみの水切りや分別ルールの啓発活動を積極的に行い、ごみの減量化に取り組み豊かな環境の保全と循環型社会の形成を図ります。

野生鳥獣適正管理については、エゾシカによる農林業等の被害防止対策として、春と秋に猟友会の協力により、町内全域を対象に銃器による駆除を実施しています。

さらに、越冬地対策として行っている野付半島と走古丹地区での生体捕獲については、平成28年度から民間業者の協力で囲いワナを増設しており、これらを効率的に活用して被害の防止に努めます。

町内の公園には、新たに実のなる木の植樹を進め、町民が木とふれあい、木に親しみな

がら秋には収穫する喜びを感じられる、また、子ども達にとっては学習材料として活用できるような公園づくりを進めます。

次に、健やかに暮らせる福祉のまちについてでございます。

この町で暮らす町民一人一人が、心身ともに健やかに暮らし続けることが、町を豊かにする根幹です。

子どもから高齢者まで、そして障害者や認知症の方など全ての方が安心して暮らせるまちでなければなりません。

健康づくりの推進については、生活習慣病等の一次予防に重点を置き、病気の早期発見、重症化防止のため健康診査受診の勧奨や、保健師、栄養士、歯科衛生士などによる、きめ細かな保健指導を積極的に実施し家族全員の健康維持を支援します。

また、助産師及び保健師による相談や訪問等により、妊娠、出産、育児と切れ目ない支援をします。

子育て支援の充実については、子ども・子育て支援事業計画に基づき、地域や民間、行政が力をあわせ、安心して子どもを産み、子育てができる環境の充実を進めます。

子ども医療費については、中学生卒業までの入院、通院医療費を助成し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

また、共働き世代をしっかりと応援するため、中春別へき地保育園を認定こども園運営に移行し、待機児童を出さないことを町の責務として捉え、地域の実情に沿った保育園の運営を図ります。

保育園等の利用者負担は、町独自の施策として国が負担基準としている額の50%とし、所得に関係なく多子世帯に対する軽減措置を適用し、保護者の負担を軽減します。

さらに、新たな事業として、子どもの出生を町民全員で喜び、お祝いの気持ちを伝えるとともに、健やかな育ちを支援する「出産祝金贈呈事業」を実施します。

障害者支援については、障害者施策の基本的な計画である第3期別海町障がい者計画や、第4期障がい福祉計画に基づき施策を進めます。

障がい者計画の基本理念は、障害のある人もない人も、一人一人が輝く共生のまちの実現であり、今後も本町独自の取り組みとして行っている、無料バス利用券交付事業を始め、生活援護関係の各事業を実施します。

高齢者施策については、介護保険法の改正に伴い、全国一律の基準で実施している介護予防給付の一部を、町が行う介護予防・日常生活支援総合事業へ移行し、事業の充実を図り、高齢者が地域において自立した日常生活を継続できるよう支援します。

また、課題となっている介護職員不足については、介護職員初任者研修の開催や研修受講者に対する支援など、介護事業所とも連携した人材確保を図ります。

国民健康保険事業は、法律等の改正により、安定的な運営や財政基盤強化を目的として、平成30年度から財政運営主体が都道府県へ移行し、市町村との共同運営になります。

国民皆保険の最後の砦である国民健康保険は、町民の医療を受ける環境を守るうえで継続可能な制度であることが重要なことから、移行による税率への影響等をしっかりと検証していきます。

さらに、保健事業の実施による医療費の抑制と保険税徴収の向上に努めます。

地域医療を取り巻く環境は、医療従事者不足など、依然厳しい状況が続いています。

平成28年に策定された北海道地域医療構想では、将来人口や年齢構成を踏まえた中で、医療機関相互の役割分担と連携の促進や、医療と介護が連携した地域包括ケアシステム

の構築が求められています。

本町は、広大な面積を有するという特殊性がありますが、町内唯一の病院として、地域の福祉関係施設とネットワークを構築し地域完結型医療を目指します。

また、医師確保推進機関等との連携や、医師の派遣をいただいている札幌医科大学との関係をさらに強化し、奨学資金制度の活用などにより、安定的な医療人材確保に努め、町民が住みなれた地域で安心して暮らすため、求められる医療と高度医療の提供、及び予防医療の推進を図ります。

次に、人を育てる学びのまちについてでございます。

生涯学習においては、町民一人一人が生涯を通じて積極的に学び、その成果が活力に満ちた地域社会の形成につながるよう、学習活動の環境づくりを推進するとともに、その拠点となる仮称「生涯学習センター」の実施計画に着手します。

また、防衛省所管の補助事業で整備を検討してきた学校給食センターについては、早期改築を目指して、別事業により実施設計に着手します。

学校教育では、自分らしく学び続ける子どもの育成を目指して、保育園、幼稚園から高校まで連携する別海型の教育活動を推進するとともに、地域においては、コミュニティ・スクールの導入に向けた準備を進め、家庭と地域が連携した学校運営に向け、学校教育、社会教育が一体となった活動を展開します。

別海高等学校については、本年度3間口での募集が復活した普通科、及び出願者が減少している酪農経営科の安定した入学者数確保のため、支援を継続します。

青少年の健全育成については、目まぐるしく進歩する情報社会においても基本的な生活習慣を身に付け、主体的にメディアを活用する「メディアリテラシー」の向上に取り組むとともに「別海町いじめ防止に関する基本方針」に基づき、豊かな心の育成を目指します。

また、芸術、文化振興のため、「ふるさと講座」や「郷土学習出前講座」などの充実を図るとともに、いつでも誰でも気軽にできるスポーツの普及に努めることで「町民皆スポーツ」の実現を目指します。

交流事業では、友好都市間で組織する友好都市サミット協議会などで、他都市の特徴的な施策について情報交換し、当町の行政運営に生かすとともに、町民による地域間交流の活性化を図ります。

次に、快適で安全なまちについてでございます。

(仮称)生涯学習センター建設に向けて、平成27年度から取り組んでいる「矢臼別演習場周辺まちづくり構想」は基本構想、基本計画を基にした実施計画を策定しますが、引き続き多くの町民の皆様の参加をいただきながら、別海町らしい魅力あふれる計画を策定していきます。

住宅対策については、「公営住宅等長寿命化計画」に基づく改修を順次実施するとともに、実態調査に基づく町内の「空家対策」や「耐震改修促進計画」の見直しによる既設住宅の耐震化など、良質な住宅ストックの形成に取り組めます。

道路事業については、国の交付金事業等の積極的な活用と、町単独事業により、計画的な整備を進めます。

また、上水道、下水道についても国の補助事業等を有効に活用し、耐震化や長寿命化といった施設整備を計画的に実施するとともに、下水道区域外の合併処理浄化槽の普及促進を図ります。

コンソーシアムによる実証事業でスタートしたテレワーク推進事業は、平成28年度か

ら移住定住促進協議会、通称「ほらり協議会」が事業を推進しています。

テレワークという「地方への人の流れをつくる」新しい働き方のスタイルを、地域の活性化に大きく貢献する可能性を秘めたツールとして捉え、移住や起業を促進する事業として推進していきます。

また、長距離高速無線網によるインターネット通信サービスは、利用者の増加や通信の大容量化より、さらなる通信環境の改善が必要となっています。

町民により快適で安定的なインターネット利用環境を提供するために、無線通信機器を増設するなど、通信基盤の整備を進めます。

防災対策は、自主防災組織育成事業を活用した防災活動支援のほか、これまで主に津波を想定して実施してきた訓練のほかに、活断層地震を想定した内陸部での災害対処訓練を実施して、防災意識の高揚を図ります。

また、本町の海岸線では、低気圧による高潮などにより冠水被害が度々発生することから、防潮堤建設など海岸保全施設の早期整備に取り組むほか、潮位観測機器を整備し、迅速な情報の収集と伝達を可能とするよう取り組みます。

近年は、生活様式の多様化に伴う悪質商法被害が社会的に問題化しており、本町においても消費者行政の取り組みとして、警察などの関係機関と連携し予防の啓発、活動に取り組みます。

次に、参画と協働でつくるまちについてでございます。

町では「自治基本条例」や「協働の指針」を基本に、町民参加や情報開示を進めてきましたが、さらに実施手法の充実を図りながら、町民の意見が行政に反映されるよう取り組みます。

また、個人や団体から寄附をいただく「ふるさと納税」は、これまで以上に別海町を愛し応援していただけるよう、広く制度内容の周知に努めます。

職員研修については、開発局や北海道への研修派遣に加え、先駆的な取り組みを行なっている道内外の市町村の実態を学ぶ研修に職員を参加させ、研修先の職員やリーダーとの意見交換を通じ、今後の地域づくりや自治体運営に力を発揮できる人材の育成に努めます。

高齢者の方や、認知症、障害等により判断能力が十分でない方が、不利益や権利の侵害を受けることなく安心して生活できるよう、行政と関係機関が連携し成年後見制度の支援体制を整備します。

また、障害のある方に対する不当な差別的取り扱いなどの解消に向け、積極的に啓発活動に取り組むとともに、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し、共生できるまちづくりを推進します。

北方領土問題については、昨年12月に日本で開催された日ロ首脳会談において、平和条約締結に向けた第一歩となる、共同経済活動に関する協議を開始することで合意しました。

隣接地域である本町は、この共同経済活動に積極的に関与し、これまで取り組んできた返還運動も展開しながら、国や道を始めとした関係機関と連携し、北方領土対策を推進します。

本町は、国内最大規模の矢臼別演習場と陸上自衛隊別海駐屯地を有しており、国の防衛施策の一助となる役割を担っています。

また、自衛隊員には災害発生時の支援活動のほか、地域イベントなどにも積極的に参加

、協力をいただいております、地域住民と親密な協力関係が醸成され、まちづくりに欠かせない存在となっています。

今後も長年築かれてきた信頼関係を大切にするとともに、演習場周辺における騒音等の諸問題に関しても、早期解決に向けて関係省庁等へ積極的に働きかけます。

本町の財政状況は、人口減少や少子高齢化、基幹産業である酪農・畜産業の後継者不足による離農の増加などにより、ますます厳しさが増すと予想されますが、平成31年度から始まる第7次別海町総合計画に向けて、安定的かつ健全な財政基盤を確立し、持続可能な自治体経営を進めていかなければなりません。

公共施設等については、「公共施設等総合管理計画」に基づき、今後の財政負担の軽減及び平準化を図ることを目的として一元管理に向けた検討を行います。

また、あらゆる情報から財源確保の可能性を探るとともに、「別海町債権管理条例」に基づき、債権の適切な回収に取り組み、町税等の自主財源確保に努めます。

平成31年10月からの消費税10%への引き上げに向けては、受益者負担の原則に基づき、引き上げ分の転嫁が必要と判断される公共料金等について、適切な料金設定となるよう検討を行います。

結びになりますが、全国的に見た直近の経済展望では、企業の生産活動は持ち直しが持続し、景気も緩やかに持ち直しの状況にあると言われる中、可処分所得の伸び悩みから、個人消費は低迷が長期化するとも見込まれています。

また、米国の大統領選後において、新政権が示す保護主義的な貿易政策や、TPPについては、離脱とする大統領令に署名をしたものの、今後の二国間協議の行方なども不透明なままであり、これらが、いかに本町の行財政運営に影響を及ぼすこととなるか、推移を観察していく必要があります。

到来する少子高齢化時代は、本町に限らず地域の産業や財政運営に大きな影響を及ぼすことは明らかです。

そのような中で、住民と協働して子育て世代をしっかりと支え、健やかで充実した老後を過ごすための枠組みを整備し、人材育成や付加価値拡大などにより経済の成長を促していくことが、これからの行政には求められています。

「笑顔あふれる豊かさ実感のまちべつかい」創造の集大成に向け、町民の皆様と心を一つに、皆様の声を聞き、皆様の気持ちを第一に考え、その先頭に立って町政運営に当たってまいります。

町議会議員及び町民の皆様には、平成29年度の町政運営に対する御理解と御協力を心からお願い申し上げ、長くなりましたけれども、行政執行方針といたします。

よろしくお願いを申し上げます。

○議長（松原政勝君） 以上で、行政執行方針の説明を終わります。

ここで会議を10分間休憩いたします。

午前10時48分 休憩

午前10時58分 再開

○議長（松原政勝君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

◎日程第7 平成29年度教育行政執行方針

○議長（松原政勝君） 日程第7 平成29年度教育行政執行方針について説明がありま

す。

教育長。

○教育長（伊藤多加志君） それでは私のから、平成29年度教育行政執行に関する主要な方針を申し上げます。

社会情勢がめまぐるしく移り変わり、将来を担う子供達に対する教育の果たす役割がこれまで以上に重要となっています。

別海町教育委員会は、新しい教育委員会制度のもと、本町教育の執行機関として責任を担うとともに総合教育会議等を通じて、町行政と情報共有を図りながら、教育行政を推進していきます。

近年、本町の子供達の活躍は目覚しく、先日の全国中学校スケート大会では、男子学校対抗で別海中央中学校が男子総合優勝、上春別中学校が第4位、さらに、個人戦では2冠を達成するなど多くのメダルを獲得しました。

文化面では、2年連続で別海高等学校美術部の生徒が北海道高文連で優秀賞を受賞し、全国大会への出展が決まる栄誉に輝きました。

この他にも多くの学校や団体が全道大会や地区大会へ参加し、別海町の名を広めるとともに、別海町で生き抜いている力強い姿を見せていました。

このことは、町を挙げて取り組んできた生涯スポーツの振興や、地域文化の振興の積み重ねにより育まれてきたものと確信しています。

これまでの教育に懸ける先人の精神を引き継ぎ「夢と希望にあふれ 輝きに満ちた ふるさとを切り拓く町民を育む」を教育の基本理念に、将来を担う子ども達のために教育行政を執行します。

第1は、生涯学習の振興についてです。

私たち町民が、心豊かに生きがいのある充実した生活を営み、活力に満ちた地域社会を形成するためには、町民一人一人が「学びの木」に示す成長の発達課題を達成させ、生涯を通じて積極的に学び、その成果を生かして、地域づくりを進めていくことが重要です。

学習の成果を人づくり・まちづくりに生かす生涯学習社会の実現のため、町民の学習活動を支援し、生涯学習推進の実践研究機関である「別海町生涯教育研究所」等、町内のあらゆる組織を有効に活用しながら、学習の成果が地域の発展に生かされる環境づくりを推進します。

本町の生涯学習の拠点であり、人づくり・まちづくりの中核となる仮称「生涯学習センター」については、平成28年度策定のまちづくり構想基本計画を基に、実施計画を策定します。

次代の担い手である子供達が、生涯学習の実践者として自ら学び、健やかに成長することはもとより、変化の激しい社会を夢と希望をもって生き抜く力を育むため、学校、家庭及び地域が連携協力し、子供達を守り育てる有効な手立てとして、コミュニティ・スクールの導入を進めます。

全ての学校区での導入に向けて、上春別学校区での試行を継続するとともに、中西別、上西春別及び野付学校区を試行地区に加え、別海型コミュニティ・スクールについて調査研究を進めます。

また、将来を担う若者の育成において、地域に根ざした魅力ある高等学校教育を目指して、部活動支援、寄宿施設等の設置検討など、引続き別海高等学校への支援を積極的に行います。

第2は、学校教育の充実についてです。

学力の向上については、昨年度の「全国学力・学習状況調査」において、小学校が全国平均よりやや低く、中学校が全国平均と同程度という結果となり、とりわけ、算数・数学における知識、技能等を実生活の様々な場面に活用する力の低下が懸念されます。

本年度は、本町の独自事業である「生き抜く力向上策定プロジェクト」が2期目に入り、「別海町学校教育総合実践ビジョン」に基づいた学力を育む授業改善や効果的な校内研修の一層の工夫など、自分らしく学び続ける子供の育成を目指した学習指導の充実に努めます。

体力・生活力の向上については、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」で、体の柔軟性や跳躍力を測定する種目の結果が過去3年間において全国平均を下回っています。また、肥満児の出現率が全国、全道より高く、偏食や少食、孤食など子ども達の食環境には依然課題が見られます。

本年度も「孫わ(は)優しい」レシコンテストに取り組み、食事の仕方や内容について子ども達が話し合う機会や場を設け、子どもが主体となった食育指導の充実を一層図ります。

さらに、全校縄跳びの推奨や中学校教員が小学校に出向いて体育の授業を行う「出前体育授業」、いつでも誰でも気軽にできるスポーツを活用した実践に取り組み、基礎体力の向上に努めます。

教師力の向上については、本年度も「別海の子供は、私たちが育てる」を合言葉に、教育先進地である秋田県横手市の視察研修を活かした授業やアクティブ・ラーニングを視野に入れた言語活動の充実など、研修内容を工夫しながら授業改善に努めます。

生徒指導の充実については、子供理解支援ツール「ほっと」やQ-Uなどを活用し、子供の心理面を把握する調査を行うなど、よりよい人間関係づくりが実現できるよう指導します。また、小・中学校の不登校傾向にある子供の対応については、学校が学期ごとに報告している不登校調査に基づき、教育相談の充実やふれあいの一む、保健センターの臨床心理士の活用等、積極的な生徒指導の充実に努めます。

特別支援教育の推進については、教育支援委員会で策定した「別海町サポート計画表」を効果的に活用するとともに、合理的配慮や発達検査の理解等の研修を通して、子供一人一人に応じた必要な支援、適切な指導が保障される教育環境の改善に努めます。

幼児教育の充実については、「生活する力・学ぶ力・かかわる力」の育成に重点を置いた幼児教育と義務教育をつなぐ「別海版接続カリキュラム」を一層活用しながら就学段階における滑らかな学びの連携を図ります。

本年度の学校施設の整備については、防衛施設周辺防音事業における上西春別中学校体育館の改築や、上風連小学校の大規模改修工事等を行います。

また、矢臼別演習場周辺まちづくり構想での改築を検討していた学校給食センターについては、その構想から外れたことから、老朽化等の現状に鑑み、他の補助事業や起債を財源としての整備を予定し、本年度は実施設計に取り掛かります。

第3は、社会教育の推進についてです。

地域住民の一番身近な学びの拠点である公民館では、各世代の学習ニーズの把握に努め、多彩で特色ある学習機会の提供を図るとともに、学習を通じた地域づくりの拠点として、公民館に集う人と人とのつながりを大切にしながら、地域コミュニティの形成を目指します。

町内に8大学を設けている「別海町平成寿大学」では、多くの学生が生き生きと学び、自らの教養に磨きをかける姿が見られます。さらに魅力ある大学の運営を目指して、学習意欲を高めるカリキュラムを構築するとともに、自らの経験や知恵を異世代へ伝える交流の機会を充実します。

「乳幼児母親家庭教育学級」では、若い母親たちが安心して子育てに取り組めるよう、学び合いの機会を提供するとともに、子供達の生きる力の礎となる、親子のふれあいや自然とのふれあいを大切に内容の充実を図ります。

青少年を対象に様々な体験的学習活動を展開し、子供達の社会性や自主性を育むとともに、ふるさと学習を推進します。

図書館では、地域の読書活動の振興を担うとともに、町民の多様な学習を支援する情報の拠点として、町民のニーズや地域課題に対応する様々な情報提供を行います。

町内47か所をステーションに、移動図書館車による本の貸し出しを行い、誰もが主体的に学ぶことのできる機会を提供します。

新たに建設された上西春別中学校の地域開放型図書室については、学校や地域と協議しながら可能な範囲で地域開放を行い、学校と地域の図書室としての機能を充実させていきます。

「第3次社会教育中期振興計画」は、9年目を迎え、後期アクションプログラムに基づき、「人づくり」や「協働のまちづくり」の実践に積極的に取り組むとともに、第4次計画策定に向けた評価も行います。

第4は、青少年の健全育成についてです。

町独自で取り組んでいる「メディアコントロールシート」を活用し、子どもが主体的にメディアとの付き合い方を考える取り組みを通して、基本的生活習慣の定着と情報モラルの徹底を図ります。

情報端末機器（SNS）の利用を午後10時には止める「スイッチOFF22」のスローガン「スイッチOFF22で生活変えよう 未来を変えよう！」を家庭や地域に発信しながらメディアリテラシーの一層の向上を図ります。

また、いじめの未然防止については、子供一人一人がお互いに思いやる雰囲気づくりが何よりも大切であり「別海町子どものいじめ防止に関する基本方針」に基づき、各教科等の授業において、子供がお互いの気持ちを積極的に伝え合う話し合い活動を位置付けるとともに、豊かなこころの育成を目指した道徳の授業を充実させます。

本年度の友好都市「少年少女ふれあいの翼」交流事業では、本町の中学生15名が枚方市を訪問し、自分の住む町と異なる自然や文化に触れる機会を通して、一層の交流を図ります。また、広島市を訪れ、原爆記念館等を視察するなど、原爆の悲惨さや戦争の悲惨さを学ぶ平和学習も行います。

町の将来を担う酪農後継者が、今後の酪農経営や地域づくりの指導者として必要な国際的感覚、視野及び資質を身に付けることを目的とした、別海高等学校農業特別専攻科の長期海外研修及び酪農経営科の短期海外視察に対し、派遣費補助を引続き行います。

第5は、芸術・文化の振興についてです。

公民館や資料館が中心となって、学ぶ機会や芸術文化に触れる機会を提供するとともに、活発な活動を展開している別海町文化連盟の各団体、サークルの自主的な活動との一層の連携を図り、多くの町民が積極的に参加・創造できる環境づくりに努めます。

史跡旧奥行臼駅通所保存事業については、保存管理計画に基づき、昨年度から3か年計

画で旧奥行臼駅通所修理工事を実施中で、平成31年度から一般開放を目指します。

北海道の天然記念物に指定されている、ヤチカンバ群落地を恒久的に保護していくため、植物の専門家による「西別湿原ヤチカンバ群落地保護対策検討委員会」を設置し、保護対策に努めていますが、今後は国の天然記念物指定に向けた調査・研究を進めます。

郷土資料館では、町内の歴史、文化及び自然に関わる資料の収集、整備保管、調査研究を進めます。また、昭和初期頃の農家や野付通行屋と漁番屋のジオラマ等を積極的に活用した「ふるさと講座」や「郷土学習出前講座」などの教育普及活動を展開します。

第6は、スポーツの振興についてです。

すべての町民がそれぞれの体力や年齢に応じたスポーツ活動を行い、健康の維持・増進と町内外におけるスポーツ交流が進められるよう、地域の特性を活かした四季折々のスポーツを推進します。

更に、いつでも誰でも気軽にできるスポーツの普及に努め、関係団体とも連携を深めながら「町民皆スポーツ」の実現を目指します。

スポーツ施設の整備については、町民体育館外部改修工事をはじめ、西春別ファミリースポーツハウスの人工芝全面張りかえ等、老朽化が進んでいる各施設の計画的な補修を進め、施設の維持に努めます。

道東地区唯一の公認フルマラソンコースを有する「別海町パイロットマラソン大会」は、多くのボランティアの方々に支えられ、本町を代表するスポーツイベントへと成長しました。本年度の第39回大会においても、地域全体が協働参加するマラソン大会として、スポーツ交流による人づくりとまちづくりを目指すとともに、道内外から多くのランナーに参加していただけるよう、町の魅力を発信します。

また、国内外のスポーツ界で活躍した講師による競技力向上セミナーの実施、本町での高等学校野球連盟釧根地区予選大会の開催や、プロ野球イースタンリーグ公式戦の招致実現に向けた活動を展開し、地域におけるスポーツ競技の振興を図ります。

終わりに、平成29年度教育行政執行に係る方針の実現に当たっては、協働のまちづくり精神のもと、全町民の理解と協力が必要です。

別海町教育委員会として、将来を担う子供達のために、自らの力で明るい未来を開いていくことができるよう、学校、家庭及び地域と密接な連携を図りながら、本町の教育振興発展に取り組みます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○議長（松原政勝君） 以上で、教育行政執行方針の説明を終わります。

◎日程第8 提出議案の概要説明

○議長（松原政勝君） 日程第8 提出議案の概要について説明があります。

副町長。

○副町長（佐藤次春君） それでは、本定例会に提出いたしました議案等について、その概要を説明いたします。

なお、提案理由につきましては、議案等が上程された際に詳細を説明いたしますので、私からは概略の説明とさせていただきます。

まず、議案第1号から議案第8号までの8件は、「平成29年度各会計予算」です。一般会計では171億1,300万円、特別会計、企業会計を合わせた全会計の総額で265億3,924万3,000円となり、前年度比でマイナス7.2%となっています。

議案第9号から議案第16号までの8件は、「平成28年度各会計補正予算」です。

主な内容としては、国の補正予算に対応し、畜産競争力強化緊急整備事業、上風連小学校老朽改修事業などを増額することに加え、執行額の確定などによる増減により一般会計で5,370万円の増額を行なうほか、後期高齢者医療特別会計及び水道事業会計で増額とし、その他の特別会計、企業会計では執行額の確定などにより減額補正を行うものです。

議案第17号は、「別海町個人情報保護条例」の一部改正です。

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）」等の一部が改正されたことに伴い、法律で定められた事務のほか、町の条例で定める独自利用事務についても新たに情報連携を行うことが可能となったことに加え、これらの事務に係る情報提供等記録を訂正した場合の手続きを定める等の必要があることから、所要の改正を行なうものです。

議案第18号及び第19号は、平成19年7月からおよそ10年にわたって減額措置を行ってきた町長、副町長及び教育長の給料月額について、当該措置を平成28年度末で終了することとする条例の一部改正を行なうものです。

議案第20号「職員の特殊勤務手当に関する条例」の一部改正は、特殊勤務手当の種類に「別海町訪問看護ステーションの緊急業務に従事するため、勤務時間外に待機した看護師の特殊勤務手当」を新たに追加するものです。

議案第21号「職員の育児休業等に関する条例」の一部改正は、「地方公務員の育児休業等に関する法律」等の改正に伴い、育児休業の対象となる子の範囲の拡大及び介護時間の導入に係る関係規定について、所要の改正を行なうものです。

議案第22号「別海町地域情報通信施設条例」の一部改正は、現在設置・運用している町内長距離無線網を利用したインターネットサービスが、利用者の増加や情報通信の大容量化に伴い、通信サービスに支障をきたしていることから、新たに本町東部に高速無線アンテナを整備するため、条例の改正を行おうとするものです。

議案第23号「別海町防災会議条例」の一部改正は、現状になじまない旅費の支給規定について改めるとともに、一部文言の整理を行なうものです。

議案第24号「別海町町税条例等」の一部改正は、「社会保障の安定税源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行なうための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等」の一部を改正する法律の公布に伴い、所要の改正を行なうものです。

議案第25号「別海町児童館条例」の一部改正は、中央児童館の所在地の地番表示を改めるものです。

議案第26号、議案第27号及び議案第28号の3件は、いずれも中春別へき地保育園が平成29年度から保育所型認定こども園に移行することに伴い、それぞれの条例について所要の改正を行なうものです。

議案第29号及び議案第30号は、いずれも国の指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの人員、設備及び運営等の基準が改正されたことから、本町の条例についても所要の改正を行なうものです。

議案第31号「別海町地域包括支援センター条例」の一部改正は、「介護保険法」の改正に伴い、条例に定める事業内容について改めるものです。

議案第32号「別海町道路占有料徴収条例」の一部改正は、「道路法施行令」の一部改正により道路占有料の額の改定が行なわれたことから、本条例別表に定める占有料について

て、所要の改正を行なうものです。

議案第33号及び議案第34号の一部改正は、いずれも本年度、国営環境保全型かんがい排水事業別海南部地区の工事が完了したことにより、これまで給水区域外であった地区の供給水量の不足が解消されたことから、条例に定める給水区域の一部を改めるものです。

議案第35号「町立別海病院事業の設置等に関する条例」の一部改正は、平成29年4月1日から別海病院の診療科目の一部に変更を予定していることから、所要の改正を行なうものです。

議案第36号「別海町ホームヘルプサービス事業条例」の廃止については、障害者の定義に「難病等」を含む「障害者総合支援法」が、平成25年4月に改正施行されたことにより、本条例によらずに難病患者等へのサービスが可能になったことから、本条例を廃止するものです。

議案第37号は、「別海町生涯学習推進協議会設置条例」の廃止についてです。ひとつくり、まちづくりを基本として地域全体の教育力向上を目的に設置した当該協議会については、一定の成果を上げ、その役割を果たしたとの判断から、本条例を廃止するものです。

議案第38号及び第39号は、「工事請負契約の締結について」です。

3月2日に入札を行った工事のうち予定価格が1件、5,000万円を超えるものについて、議会の議決を求めるものでございます。

議案第40号「辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について」は、計画策定済みの2地区について、事業の追加や事業費の増額に対応するため、総合整備計画を変更するものです。

議案第41号「町道の路線認定及び廃止について」は、事業の実施等に伴い、12路線を新規認定し、6路線を廃止するものです。

以上で、提出いたしました議案の概要説明とさせていただきます。御審議の上、御決定を賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（松原政勝君）以上で提出案件の概要についての説明を終わります。

◎委員会付託省略の議決

○議長（松原政勝君）ここでお諮りします。

本定例会に提出されております日程第9 議案第9号から日程第16 議案第16号までの8件については、会議規則第39条第3項の規定に基づき、委員会の付託は省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君）異議なしと認めます。

したがって、日程第9 議案第9号から日程第16 議案第16号までの8件については、委員会の付託は省略することに決定いたしました。

ここで会議を1時まで休憩いたします。

午前11時34分 休憩

午後 0時53分 再開

○議長（松原政勝君） 予定の時間より少し早いようなんですが、皆さんおそろいなので始めたいと思います。

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

◎日程第9 議案第9号

○議長（松原政勝君） 日程第9 議案第9号平成28年度別海町一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。

内容について説明を求めます。

財政課主幹。

○財政課主幹（寺尾真太郎君） それでは、議案第9号の内容を御説明いたします。

別冊の平成28年度一般会計補正予算書（第5号）の1ページをお開きください。

平成28年度別海町一般会計補正予算（第5項）。

平成28年度別海町一般会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の補正。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,370万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ224億4,260万円とする。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

第2条、繰越明許費。

地方自治法第213条第1項の規定により、翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表 繰越明許費」による。

第3条、債務負担行為の補正。

債務負担行為の追加・変更は「第3表 債務負担行為補正」による。

第4条、地方債の補正。

地方債の変更は、「第4表 地方債補正」による。

2ページをお開きください。

「第1表 歳入歳出予算補正」。「歳入」で、補正額の欄で申し上げます。

1款町税、1項から4項で2,772万2,000円の増。

2款地方譲与税、1項と2項で240万円の減。

3款利子割交付金、1項で200万円の減。

4款配当割交付金、1項で150万円の減。

6款地方消費税交付金、1項で2,470万円の減。

7款自動車取得税交付金、1項で510万円の増。

8款国有提供施設等所在市町村助成交付金、1項で31万5,000円の増。

12款分担金及び負担金、1項と2項で2,905万3,000円の減。

13款使用料及び手数料、1項から3項で626万5,000円の減。

14款国庫支出金、1項から3項で3,229万2,000円の増。

15款道支出金、1項から3項で3億8,377万7,000円の増。

16款財産収入、1項と2項で630万8,000円の増。

17款寄附金、1項で215万円の増。

18款繰入金、1項で2億4,421万1,000円の減。

20款諸収入3項から5項で1億1,113万5,000円の減。

21 款町債、1 項で 1,730 万円の増。

歳入合計で 5,370 万円を追加。

次に 4 ページをお開きください。

「歳出」です。

1 款議会費、1 項で 167 万 6,000 円の減。

2 款総務費、1 項から 6 項で 4,999 万円の減。

3 款民生費、1 項と 2 項で 1 億 4,239 万 6,000 円の減。

4 款衛生費、1 項と 2 項で 3,816 万 8,000 円の減。

5 款労働費、1 項で 7 万円の減。

6 款農林水産業費、1 項から 4 項で 2 億 6,177 万 8,000 円の増。

7 款商工費、1 項で 660 万 3,000 円の減。

8 款土木費、1 項から 4 項で 3,571 万 2,000 円の減。

9 款消防費、1 項で 1,076 万 4,000 円の減。

10 款教育費、1 項から 6 項で 8,905 万 8,000 円の増。

11 款災害復旧費、1 項で 11 万 5,000 円の減。

12 款公債費、1 項で 1,164 万 2,000 円の減。

歳出合計で 5,370 万円を追加し、補正後の歳入歳出予算額をそれぞれ 224 億 4,260 万円とするものです。

6 ページをお開きください。

「第 2 表 繰越明許費」です。

まず、2 款総務費、1 項総務管理費、「社会保障・税番号制度システム等整備事業」は、国の補助を受けて地方公共団体情報システム機構に委任しておりますマイナンバーの発行に係る経費について、国の予算繰り越しに伴い、当該経費を繰り越しするものです。

金額は「120 万 9,000 円」です。

次に、6 款農林水産業費、1 項農業費は 4 件です。

1 件目、「畜産競争力強化緊急整備事業」は畜産クラスター協議会への補助金で、「35 億 1,584 万 6,000 円」。

2 件目、「基盤整備促進事業富岡南地区」は農道工事で、「3,355 万 9,000 円」。

3 件目も同じく「西和地区」農道工事で、「6,698 万 8,000 円」。

4 件目につきましても「東富岡地区」農道工事で、「6,045 万円」。

続いて、10 款教育費、2 項小学校費は「小学校校舎等改修事業」。

上風連小学校で「1 億 1,930 万 5,000 円」です。

「畜産競争力強化緊急整備事業」から「上風連小学校改修事業」までの 5 件は、いずれも国の補正により補助採択を受け、事業費を繰り越しするものです。

次に「第 3 表 債務負担行為補正」です。

まず、「追加」で「中小企業振興資金利子補給補助金」は、別海町中小企業融資条例に基づき、平成 28 年度借入れ資金に対する利子補給で、期間は「平成 29 年度から平成 43 年度まで」、限度額は「1,577 万 7,000 円」です。

次に「変更」は、「公の施設に係る指定管理者に対する委託料（野付半島ネイチャーセンター）」で、今後の観光客の増を見込みまして、対応ガイドを通年 2 名体制とする費用を増額することに伴いまして、限度額を変更するもので、期間に変更はなく、変更前の限

度額「6,279万2,000」円を変更後におきまして、「6,652万1,000円」とするものです。

次に7ページ、「第4表 地方債補正」です。

「変更」になりますが、「本別海へき保育園改築事業」以下18事業です。

このうち合計欄を除きまして下から5段目の「小学校校舎等改修事業」は、先ほど「繰越明許費」で御説明いたしました「上風連小学校大規模改修事業」が、国の補正で補助採択をされたため、残りの財源につきまして地方債を起こすこととし、補正前の限度額「220万円」を補正後で「8,120万円」とするものが主な内容となっております。

その他の事業につきましては、事業費の確定や精査などによるもので、変更する全ての事業において「起債の方法」、「利率」、「償還の方法」に変更はございません。

以上、ページの1番下になりますが、補正前の限度額「19億142万2,000円」に1,730万円を追加し、補正後の限度額「19億1,872万2,000円」とするものです。

次に「歳入歳出補正予算事項別明細書」になりますが、「1. 総括」は省略させていただきまして、「2歳入」から御説明いたします。

11ページをお開きください。11ページ、「2歳入」です。

目の欄で御説明いたしますが、ほとんどが補助額の確定や収入実績による精査となりますので、主な項目のみ御説明させていただき、その他は金額のみ申し上げます。

1款町税、1項2目法人分3,129万4,000円の増。

3項1目軽自動車税293万2,000円の増。

4項1目町たばこ税650万4,000円の減は、いずれも決算見込みによる増減です。

2款地方譲与税、1項1目地方揮発油譲与税1,920万円の増。

2項1目自動車重量譲与税2,160万円の減。

続いて12ページ。

3款利子割交付金、1項1目利子割交付金200万円の減。

4款配当割交付金、1項1目配当割交付金150万円の減。

13ページ、6款地方消費税交付金、1項1目消費税交付金2,470万円の減。

7款自動車取得税交付金、1項1目自動車取得税交付金、510万円の増。

続いて、14ページ。

8款国有提供施設等所在市町村助成交付金、1項1目国有提供施設等所在市町村助成交付金31万5,000円の増は、いずれも決算見込みによる増減です。

12款分担金及び負担金、1項1目農林水産業費分担金2,570万7,000円の減は、道営草地整備事業、事業費確定見込みに伴う受益者分担金の減が主なものです。

2項1目総務費負担金は17万4,000円の増。

5目教育費負担金は350万円の減。

次の商工費負担金2万円の減は廃目となるものです。

15ページです。

13款使用料及び手数料、1項1目総務使用料は168万円の減。

2目民生使用料603万7,000円の減は、認定こども園、へき地保育園、一時預かりの保育料の減です。

3目衛生使用料は4万5,000円の減。

6目土木使用料は85万円の増。

7目教育使用料は18万3,000円の減。

続いて16ページ。

2項2目民生手数料は30万円の増。

3目衛生手数料は123万3,000円の増。

3項1目証紙収入は70万3,000円の減。

17ページです。

14款国庫支出金、1項1目総務費国庫負担金550万円の減は特定防衛施設周辺整備調整交付金の額の確定による減額です。

2目民生費国庫負担金、2,674万3,000円の件は、障害者自立支援給付費等負担金や児童手当負担金の減が主なものです。

3目衛生費国庫負担金は66万8,000円の増。

4目教育費国庫負担金6,467万6,000円の増は、上西春別中学校校舎改築に伴います文部科学省の国庫負担額の確定によるもので、当該負担金は当初防衛省の防音補助金と合算し、一括計上しておりましたが、今回の確定に伴い、適正科目への組みかえを行ったため、本目新設となっております。

続いて、2項1目総務費国庫補助金は107万2,000円の減。

18ページです。

2目民生費国庫補助金877万4,000円の減は、臨時福祉給付事業補助金の減が主なものです。

3目衛生費国庫補助金は91万4,000円の減。

4目農林水産業費国庫補助金は44万8,000円の減。

5目土木費国庫補助金は377万3,000円の増。

19ページ。

6目教育費国庫補助金664万円の増は、小学校費補助金におきまして、上風連小学校老朽改修の繰越事業の財源といたしまして、学校環境改善交付金の増が主な内容となっております。

続いて20ページ。

3項1目総務費国庫委託金は1万4,000円の減です。

21ページです。

15款道支出金、1項1目民生費負担金1,216万7,000円の減は、国庫負担金と同様、障害者自立支援給付費等負担金や児童手当負担金の減が主なものです。

2目衛生費負担金は19万3,000円の減。

2項2目民生費補助金は339万9,000円の減。

22ページです。

3目衛生費補助金1,850万1,000円の減は、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業交付金の減が主なもので、これはエゾシカ被害対策事業の事業費確定見込みによるものです。

4目農林水産業費補助金4億2,140万2,000円の増は、23ページ、説明欄の中ほどになります畜産競争力強化緊急整備事業補助金の増が主なもので、こちらにつきましては、畜産クラスター協議会への補助金に係る収入で、翌年度繰越事業の財源となるものです。

5目商工費補助金は80万円の増。

7目消費費補助金は219万円の減。

次の土木費補助金50万円の減は、廃目となるものです。

24ページをお開きください。

3項1目総務費委託金153万1,000円の減。

2目衛生費委託金2万円の減。

3目農林水産業費委託金1万7,000円の増。

4目商工費委託金5万9,000円の増は、本目新設で、いずれも収入見込み額に対する増減でございます。

25ページです。

16款財産収入、1項1目財産貸付収入は58万円の減。

2目利子及び配当金は49万9,000円の増。

26ページです。

2項1目不動産売払収入592万4,000円は、尾岱沼潮見町分譲地2件の土地売払収入が主なものです。

2目物品売払収入は46万5,000円の増です。

27ページ。

17款寄附金、1項3目教育費寄附金は10万円の増。

4目ふるさと応援寄附金205万円の増は、本目新設で、ふるさと応援寄附金全70件によるものです。

28ページをお開きください。

18款繰入金、1項1目財政調整基金繰入金2億4,340万円の減は、今回の補正により、財政調整基金繰入金へ2億4,340万円の繰り戻しを行うものです。

4目生涯学習振興基金繰入金9万円の減。

5目スポーツ振興基金繰入金10万円の減。

9目標津線代替輸送確保基金繰入金81万1,000円の増。

10目清流保全基金繰入金17万円の減。

11目上杉貞賞基金繰入金1万4,000円の減。

13目水沼徳一郎基金繰入金15万円の減。

14目産業振興基金繰入金109万8,000円の減は、いずれも充当先事業の確定見込みによる増減となっております。

29ページ。

20款諸収入、3項1目貸付金元利収入は30万4,000円の増。

4項1目民生費受託事業収入は102万円の減。

2目農林水産業費受託事業費は209万2,000円の増。

3目土木費受託事業収入は296万5,000円の減。

5項1目雑入1億954万6,000円の件は、畜産担い手総合整備型再編事業収入の受益者償還収入見込みによるものです。

31ページまでお進みください。

21款町債、1項2目民生債630万円の減。

3目衛生債60万円の減。

4目農林水産業債930万円の減。

5目土木債810万円の減。

一つ飛ばしまして、7目災害復旧債40万円の減は、いずれも事業費確定見込みによるものです。

一つ戻りまして、6目教育債4,200万円の増は、小学校債において、上風連小学校老朽改修の繰越事業の財源といたしまして7,900万円の借り入れを行うことが主な要因です。

歳入につきましては以上です。

33ページをお開きください。

33ページ、「3歳出」ですが、一般会計の歳出補正は、今回ほとんどが事業費の確定や経費の支出見込み額精査による減額がほとんどで多くの科目にわたっております。

よって、主な増減額について説明させていただき、事業費の確定や支出見込み精査による軽微な増減につきましては、目の単位で金額のみを申し上げさせていただきますので御了承ください。

1款議会費、1項1目議会費は167万6,000円の減。

34ページ、2款総務費、1項1目一般管理費は36ページ下段までで480万1,000円の減。

36ページにお進みいただき、2目職員管理費は38ページ下段までで67万8,000円の減ですが、38ページをお開きいただきまして、ページ中ほどの説明欄、給与費負担金につきましては、病院職と兼務となっております。

母子センター助産師の給与費について、支出見込み額精査により、106万円を増額補正しています。

こちらは、病院事業会計への支払いとなります。

3目財政管理費は75万2,000円の減。

39ページ、4目会計管理費は30万9,000円の減。

5目財産管理費は829万1,000円の減です。

減額の内容につきましては、このページの説明欄、本庁舎補修事業に係る各種工事費の確定による減のほか、40ページをお開きいただきまして、上段になります。庁舎等維持管理経費の修繕料など、各支出見込み額の精査によるものです。

43ページまでお進みください。

6目企画費は969万4,000円の増で、増額の内容につきましては、45ページにお進みいただき、説明欄の中段から少し下になりますが、企業振興促進補助金に1,646万8,000円を計上したことなどによるものです。この企業振興促進補助金につきましては、町の企業振興促進条例に基づきまして、新規事業所であります別海バイオガス発電株式会社に固定資産税相当額の補助を予定とする内容となっております。

46ページをお開きください。

8目車両管理費は48ページ中段にわたりまして451万8,000円の減。

48ページにお進みください。

9目支所費は49ページ中段までで23万1,000円の減。

49ページ、10目交通安全対策費は50ページ上段までで24万2,000円の減。

50ページです。

11目環境対策費は96万5,000円の減。

51ページ、12目北方領土問題対策費は4万8,000円の減。

13目特定防衛施設周辺整備費は3,050万3,000円の減です。

主な減額の内容についてですが、52ページ、説明欄の1行目をごらんいただきまして、道路改良工事請負費など事業費の確定による減額が主な要因となっております。

14目電子計算管理費は53ページ上段までで320万3,000円の減。

53ページです。

15目地域情報化推進事業費は775万2,000円の減です。こちらはこのページの説明欄の中ほど地域情報通信施設整備事業費における高速無線通信設置機器工事請負費の確定に伴う減が主なものとなっております。

54ページをお開きください。

16目諸費は695万9,000円の増で、増額の内容につきましては、55ページ、説明欄上段で、震災復興特別交付税返還経費といたしまして、返還金1,476万3,000円を計上したことによります。この返還金につきましては、東日本大震災後、平成23年度及び平成24年度に本町で実施いたしました木材供給に資する森林関連事業、及び平成24年度に実施いたしました津波対策の該当となりました道営の野付地区床丹漁場の離岸堤設置工事に係る町村負担分の予算額に対しまして、震災の復興特別交付税が交付されました。しかし、事業の完了に伴う精算の返還額につきましては、これまで返還の受け手であります国側において返還金受け入れの制度がなかったために、本町で留保している形となっておりますが、今回、返還制度が整備されましたことにより、国からの通知を受け返還する経費となっております。

続きまして、2項1目税務総務費は4万6,000円の減。

2目賦課徴収費は56ページ中段までで74万2,000円の減。

56ページです。

3項1目戸籍住民基本台帳費は63万1,000円の減。

57ページ、4項1目選挙管理委員会費は11万4,000円の減。

2目参議院議員選挙費は58ページ中段までで200万1,000円の減。

58ページです。

5項1目統計調査総務費は1万5,000円の減。

2目指定統計費は60万1,000円の減。

59ページ、6項1目監査委員費は20万円の減です。

60ページをお開きください。

3款民生費です。1項1目社会福祉総務費は332万7,000円の減。

主な補正内容につきましては説明欄、福祉牛乳給付事業などの支出見込み額精査によるものですが、一部下段になりますけれども、社会福祉事業経費において、要保護世帯の除雪に係る作業委託料の増及び61ページ中ほどになります国民健康保険特別会計繰出金において増額を行っております。

61ページ、2目老人福祉費は5,472万9,000円の減。

主な補正内容ですが、62ページをお開きいただき、説明欄の上段、老人福祉施設整備事業費の減や少し飛びまして64ページ中段の介護サービス事業特別会計や次の介護保険特別会計への繰出金の減が主な内容となっております。

4目障害者福祉費は3,361万7,000円の減。

主な補正内容につきましては、66ページをお開きいただき、説明欄の中ほどになります障害者福祉に係ります介護給付・訓練等給付費、または地域生活支援事業扶助費の支出

見込み額の精査による減が主な要因となっております。

5目居宅介護支援事業費は67ページにかけ20万円の減。

67ページ、6目地域包括支援センター費は13万2,000円の減。

7目後期高齢者医療費は68ページ上段までで437万3,000円の減。

68ページ、8目臨時福祉給付事業費510万円の減は、障害・遺族年金受給者向け臨時福祉給付事業の決算見込みによる減が主なものです。

続いて、2項1目児童福祉総務費は2,114万2,000円の減。こちらは地域子ども・子育て支援事業8事業の支出見込み額精査による減のほか、69ページ最下段から70ページ中段にかけての子ども医療費助成事業の支出見込み額精査による減、及び71ページ上段、児童デイサービスセンターにおける障害児通所給付費の支出見込み額精査による減が主なものです。

71ページ、2目児童措置費1,149万6,000円の減は、児童手当費の決算見込みによるものです。

3目児童福祉施設費は72ページ上段までで9,000円の減。

72ページ、4目保育園費は47万2,000円の増です。こちらの増額につきましては、別海保育園における平成29年度からの3歳未満児受け入れ体制を整えるため、乳児用トイレの改修工事費や器具費におきまして、いすやテーブル、遊具などの整備を行う内容となっております。

73ページ、5目へき地保育園費は869万9,000円の減。本別海へき地保育園改築事業の事業費確定に伴う減が主なものです。

74ページ、6目児童館費は4万4,000円の減です。

75ページです。

4款衛生費、1項3目環境衛生費は1,816万4,000円の減。悪天候の影響で駆除予定頭数を下回りましたエゾシカ被害対策事業の減が主な要因です。

77ページまでお進みください。

4目健康管理費は79ページ上段までで252万3,000円の減。

79ページまでお進みいただき、5目エキノコックス症対策費は44万6,000円の減。

80ページ7目母子センター費は2万5,000円の減。

8目病院費は900万円の増で、病院事業会計繰出経費の増によるものです。

9目生活排水施設費は1,087万円の減で、合併処理浄化槽設置補助金における補助申請者数の確定見込みによる減額となっております。

10目養育医療費は94万9,000円の減です。

81ページ、2項1目清掃総務費は41万9,000円の減。

2目じん芥処理費1,041万2,000円の減は、このページの最下段、根室北部廃棄物処理広域連合負担金の減が主なものです。

82ページ、3目塵芥処理場費は、231万円の減。

83ページです。

4目し尿処理費は104万5,000円の減。

5目し尿処理場費は5,000円の減です。

84ページをお開きください。

5款労働費です。1項1目労働諸費は7万円の減です。

続いて85ページ、6款農林水産業費です。1項1目農業委員会費は30万円の減。
2項2目農業総務費は38万5,000円の減。
3目農業振興費は4億4,640万5,000円の増です。こちらは畜産競争力強化緊急整備事業の増が主なものとなっております。
87ページまでお進みください。
4目畜産業費は143万2,000円の減。
6目農地費は88ページにかけまして299万1,000円の減。
88ページです。
9目農業者年金業務費は27万円の減。
89ページ、2項1目広域農業推進費は1億6,704万7,000円の減で、主な補正内容につきましては、道営草地整備事業など事業費支出見込み額精査による減となっております。
90ページをお開きください。
3項1目林業総務費は28万3,000円の減。
91ページ、2目林業振興費は94万3,000円の減。
3目公有林整備事業費は15万6,000円の減。
4目森林環境保全整備事業費は81万9,000円の減。
92ページをお開きください。
4項1目水産業総務費は14万7,000円の減。
2目水産業振興費は952万4,000円の減です。こちらにつきましては各種事業費確定に伴います減額の積み上げによるものです。
94ページにお進みください。
3目漁港管理費は33万円の減です。
95ページ、7款商工費です。1項1目商工業振興費は364万3,000円の減ですが、一部説明欄の中ほど地域貢献中小企業支援事業におきまして、補助申請件数の見込みにより増額補正をしております。
97ページにお進みください。
2目観光費は99ページにわたりまして296万円の減です。
100ページにお進みください。
8款土木費です。1項1目土木総務費は38万4,000円の減。
101ページ、2項1目道路橋りょう総務費は2万3,000円の減。
2目道路維持費は39万6,000円の減。
102ページです。
3目道路新設改良費1,878万円の減は、1行目臨時町道整備事業や下段の社会資本整備道路交付金事業の確定に伴う減が主なものです。
103ページ、4目防衛施設周辺道路整備事業費は56万6,000円の減。
104ページです。
5目防衛施設周辺障害防止受託事業費は242万円の減。
3項1目下水道費は881万9,000円の減で、下水道事業特別会計繰出金の減によるものです。
105ページ、4項1目住宅管理費は112万4,000円の減。
2目公営住宅建設事業費は106ページまでで320万円の減です。

107ページをお開きください。

9款消防費です。1項1目消防費は205万2,000円の減。

2目災害対策費は871万2,000円の減で、災害用備蓄資機材等整備事業や自主防災組織育成事業の事業費確定に伴う減が主なものです。

110ページにお進みください。

10款教育費になります。1項1目教育委員会費は20万円の減。

2目事務局費は43万2,000円の減。

3目教育指導費は112ページまでで185万6,000円の減。

112ページです。

2項1目学校管理費は113ページにわたりまして189万3,000円の減。

113ページ、2目教育振興費は39万4,000円の減。

3目通学対策費は114ページまでで56万7,000円の減。

114ページ、4目学校建設費は1億1,930万5,000円の増です。こちらにつきましては国の補正予算により補助採択となった上風蓮小学校に係る繰越事業の分になります。

3項1目学校管理費は171万5,000円の減。

2目教育振興費は115ページにわたりまして54万7,000円の減。

115ページです。

3目通学対策費は55万8,000円の減。

4目学校建設費は116ページ上段までで23万8,000円の減。

116ページです。

4項1目幼稚園管理費は150万8,000円の減。

2目教育振興費は18万3,000円の減。

5項1目社会教育総務費は529万5,000円の減で、主に別海高校の海外派遣研修事業費の確定によるものです。

119ページまでお進みください。

2目生涯教育推進費は3万6,000円の減。

3目生涯教育学習費は120ページ上段までで13万円の減。

120ページ、4目青少年教育費は121ページにわたり73万1,000円の減。

121ページ、5目中央公民館費は122ページ下段まで続きまして78万5,000円の減。

122ページです。

東公民館費は124ページまでで66万8,000円の減。

124ページをお開きください。

7目西公民館費は125ページにわたりまして159万5,000円の減。

125ページ、8目図書館費は537万4,000円の減で、主な補正内容につきましては126ページをお開きいただき、説明欄中段になりますが、図書館運営経費における人夫賃など支出見込み額の精査に伴う減が主なものです。

6項1目保健体育総務費は129ページ中段までで323万3,000円の減。

129ページまでお進みいただき、2目学校給食費は130ページ上段までで43万9,000円の減。

130ページ、3目へき地学校保健管理費は95万3,000円の減。

131ページ、4目総合スポーツセンター費は91万7,000円の件です。

132ページをお開きください。

11款災害復旧費です。1項1目道路橋りょう災害復旧費は11万5,000円の減です。

最後に133ページです。

12款公債費、1項2目利子は1,164万2,000円の減で、借入額の利率の確定見込みによる内容となっております。

以上で、議案第9号の内容説明を終わります。

○議長（松原政勝君） 議案第9号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

13番中村議員。

○13番（中村忠士君） 4点ほどですね、ちょっとお伺いしたいんですが、一つは45ページの企業振興促進補助金の1,600万なにがしということですけど、これは企業誘致に伴う固定資産税の免除っていいですか、そういうことであるというふうな説明でしたけれども、1,646万8,000円。この内訳っていいですか、内容といいですかね、その中身をちょっとお知らせいただきたいというのが1点です。

それから62ページなんですが、社会福祉法人運営費補助金1,895万6,000円の減額補正ってということで、減額するということなんですが、理由等についてをお聞きします。

それからですね、85ページにいくんですけども、畜産競争力強化緊急整備事業補助金4億5,500万なにがしということですけども、予算資料で地区別に、道東あさひ、中春別地域、計根別地域の協議会等に補助するということになってますが、その内訳ですね。できましたら、あさひの地域に関しては何戸に、額としてはどのぐらいの振り分けなのか。中春はどうか。計根別はどうかということで、戸数と額について内訳をお聞きしたいのと。それからもう一つですけども、全体補正を加えるとですね。当初予算と補正と全部合わせると42億だということでもありますけれども、この42億トータルです。それぞれあさひ、中春、計根別、トータルでいうと、どういう状況になっているのかということ、戸数と額の内訳をわかれば教えていただきたいという点が3点目です。

それから最後ですけども、89ページですが、畜産担い手総合整備型再編整備事業の償還金。これも1億3,000万ほどの減額ということになってるんですが、理由を教えてください。

以上4点です。

○議長（松原政勝君） 総合政策課長。

○総合政策課長（佐々木栄典君） 企業振興促進に係る御質問にお答えしたいと思います。

内訳ということですが、本件につきましては新規の事業所を設置した場合についての固定資産税相当額に対する補助となっております。

この固定資産税相当額につきましては、この今回助成します別海バイオガス発電株式会社につきましては、国の認定ということで「農林漁業有機物資源のバイオ燃料の原材料としての利用促進に関する法律」、この規定に基づく国の認定を受けてます。

この認定を受けたことによりまして、固定資産税の課税標準額が3年間にわたり2分の1に軽減されていくというような税制上の支援を受けてます。

この課税標準額に対しまして、町のほうが課税された額を助成するということになっております。

以上です。

○議長（松原政勝君） 介護支援課長。

○介護支援課長（今野健一君） お答えいたします。

社会福祉法人運営費補助金の減額につきましては、新特別養護老人ホームの建設費につきまして、金融機関からの平成28年度借入額確定に伴う減額ということになります。

以上です。

○議長（松原政勝君） 農政課長。

○農政課長（門脇芳則君） お答えいたします。

まず1点目の畜産クラスター事業でございますが、今回の補正の内容でございますが、昨年12月に補正予算計上したところでございますが、その後の追加要望調査に基づきまして補正計上するものでございます。

二つの協議会に対しまして2件が対象になったものが主なものでございます。

内訳といたしましては、今回の3月補正に関しましては、牛舎が1棟、搾乳ロボット6台、バンガーサイロ8機などが主なものでございます。

それから全体ということでございますが、当初予算から3月補正まで合わせまして、道東あさひでは18戸、中春別では5戸、計根別では1戸という内訳になっておりまして、全体でしか事業内容を、今申し上げられませんが牛舎で22棟、搾乳ロボットで45台、バンガーサイロが50基、ふん尿処理施設7カ所等が主な事業内容となっております。

続きまして、畜産担い手総合整備型再編整備事業の御質問に対してお答えいたしたいと思っております。

この事業はいわゆる公社営事業でございまして、28年度、4地区において実施しております。事業量が482ヘクタール減少になったということでございます。

減少の理由につきましては夏以降の天候不順及び台風の影響による事業量の減でございます。

事業費で2億4,616万8,000円減額いたしまして、この償還金ですが、道補助と受益者負担合わせまして、1億3,171万1,000円を減額するものでございます。

以上でございます。

○議長（松原政勝君） 13番中村議員。

○13番（中村忠士君） ちょっと確認したいんですけども、この固定資産税の免除ということ3年間分で1,646万ということなんでしょうか。

これどう考えても1年間分の額ではないような気がするんで、そこをちょっと確認したいというのが一つです。

それからの規定によれば3年が限度だというふうに理解をしているんですが、これも確認ですけども、免除については3年で打ち切りというふうに理解しているのかどうか。そういうふうに理解しているんだけど、そういうことでいいかっていうことをちょっとお聞きします。

それから、畜産クラスターの件なんですけれども、12月で24億ほど補正をしてるんですが、希望がさらに多かったんで今回の補正になったっていう説明でしたけれども、資

料ではね、3地区というふうになっているんだけど違うかな。2地区、2件ということで、この資料の見方がちょっとわかんないんですが。確認ですが2地区、2件という考え方でいいのかどうかということをもう一度、念押しで申しわけないんですがちょっと確認させてください。

○議長（松原政勝君） 総合政策課長。

○総合政策課長（佐々木栄典君） それでは企業振興促進関係についてお答えいたします。

まず、固定資産税額1,646万7,800円、これにつきましては平成28年度の助成ということになっております。

それから、先ほど議員のほうから3年間の助成っていう話でしたけども、実を言いますとこの企業振興促進条例につきましては、二つの支援措置がございまして、一つ目は、要件があるんですけども、その要件に合致すれば3年間、固定資産税を免除することができるという制度と、もう1点は、この要件に合致しなくても町長が認めた場合は固定資産税相当額を2年間補助することができるという制度でございます。

今回のこの補助については、後段の町長が認めた場合、2年間固定資産税相当額を補助する。こういった内容になっております。

以上です。

○議長（松原政勝君） 副町長。

○副町長（佐藤次春君） ちょっと担当課長のですね、答弁に少し補足させていただきますけども、このバイオガス発電株式会社につきましては、まず1点がですね、農林水産省の「農林漁業有機物資源のバイオ燃料の原材料としての事業の促進に関する法律」というのに、まず認定をされて、そのことによって固定資産税の課税標準額が3年間、2分の1になるという制度を、まず受けたということなんですね。まず国のほうからそういう認定を受けていると。

それで御存じのとおり固定資産税は1月1日現在での課税になりますので、28年の1月の現状で課税をされて、28年度から税金を払っていくということになるんですが、まず国のほうの制度で28、29、30年間は課税標準額が2分の1になるという認定を受けてますというのは1個あります。

さらに、町のですね、企業振興促進条例の適用を受けたいということで申請がありまして、審議会を開いた結果ですね、先ほど課長が言いましたけれども、一つには、投資額が1億円以上で従業員が10人以上の場合は課税の免除という制度があります。

今回の場合は、投資額は約20億なんですが、常時雇用する者が2名しかいないということですね、その課税の免除という措置には当たらないということですね、その他の町長が認めた場合ということになるんですけど、それでいきますと課税された税金の範囲内で2年間補助するというのが該当するということなんですね。

ですから、1億円以上の10人以上の場合は免除ですから、最初から課税しないんですけども、今回の場合は、町としては一旦28年度の税金は、先ほど言いました1,600なにがしは納めていただいていると。それについて、その範囲内で補助をする。その期限は2年間であるということでございます。

先ほど前段で言いました、その国の認定を受けた部分の3年間、課税標準額が2分の1になるという制度は3年間ですので、町が助成するのは2年間で、そこで1年間ちょっとずれが来ますけども、国の認定が切れた場合にはですね、単純に言いますとこの1,600

0万でなくて、2倍の額が固定資産税として町に納められることになるということでございます。

以上でございます。

○議長（松原政勝君） 農政課長。

○農政課長（門脇芳則君） お答えいたします。

予算資料では全体で3地域へクラスター協議会に補助を出しております。

今回の補正につきましては二つの畜産クラスター協議会に補助しているということでございます。

以上でございます。

○議長（松原政勝君） 13番中村議員。

○13番（中村忠士君） 条例を読んでみると、確かに今説明されたことが書かれてるんですけども、今の説明を聞きながらですね、最後の質問ですから、町長の御答弁をいただければというふうに思うんですが、一つにはこの基準には合致してないけども、町長が特に必要と認める事業所の場合は2年について免除するというふうな条例になってますよね。なら、町長の判断というものがそこに入るわけですけども、その免除するというふうに判断のお考えをですね、聞かせていただければと。

条例の目的は、産業振興に資することを目的とするというふうになっているわけですけども、全ての事業所がですね、一生懸命頑張っていると。この産業振興に資するためということで、非常に皆さん努力されている。

今回は、バイオガスの発電株式会社、特に免除するという判断を下されたわけですけども、とりわけこの社に対してですね、免除しますっていうふうに判断された根拠っていいですかね、考え方っていうものを聞かせていただければというふうに思います。

○議長（松原政勝君） 町長。

○町長（曾根興三君） 中村議員の御質問ですけども、基本的に別海町内で新たに事業を起こしていただくということは、これは町の活性化にも、それから起業促進、雇用の促進という部分、いろんな部分で町のために有効的なものがあるということから、基本的には企業振興促進条例を適用したいというふうな考え方でおります。

ただ、これを適用するかしないかについては、委員会がありまして、そこで審議をさせていただいて適当だという答申をいただければ、提供していこうというふうに考えています。

それから、3年間と2年間のずれはありますけれども、その雇用の人数等によって条件があって、3年間、万度にできないという今の条例の中身ですので、この部分は御理解をいただきたいと思います。

基本的にはこれからも申請された企業については、適用するように委員会に答申を委ねたいと思ってます。

○議長（松原政勝君） ほかに質疑ございませんか。

質疑を終わります。

これから討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第9号は原案のとおり可決されました。

ここで会議を10分間休憩いたします。

午後 1時55分 休憩

午後 2時04分 再開

○議長(松原政勝君) 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

◎日程第10 議案第10号

○議長(松原政勝君) 日程第10 議案第10号平成28年度別海町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)を議題といたします。

内容について説明を求めます。

町民課長。

○町民課長(青柳 茂君) 議案第10号の内容説明をいたします。

別冊の平成28年度、別海町国民健康保険特別会計補正予算書の1ページをお開きください。

平成28年度、別海町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)。

平成28年度別海町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の補正。

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億1,400万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ29億7,200万円とする。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

2ページをお開きください。

「第1表 歳入歳出予算補正」です。補正額の欄で申し上げます。

まず、「歳入」です。

1款国民健康保険税、1項で3,237万9,000円の減。

2款国庫支出金、1項と2項で857万円の減。

3款療養給付費等交付金、1項で2,818万4,000円の減。

4款前期高齢者交付金、1項で2,268万9,000円の増。

5款道支出金、1項と2項で1,791万4,000円の増。

6款共同事業交付金、1項で8,773万5,000円の減。

7款繰入金、1項で123万5,000円の増。

8款繰越金、1項で971万4,000円の増。

9款諸収入、3項で868万4,000円の減。

歳入合計で1億1,400万円を減額し、歳入予算の総額を29億7,200万円とするものです。

次に3ページの「歳出」です。

1款総務費、1項から4項で62万8,000円の減。

2 款保険給付費、1 項から2 項と5 項で2,647 万7,000 円の減。

3 款後期高齢者支援金等、1 項で2,534 万円の減。

4 款前期高齢者納付金等、1 項で3 万円の減。

5 款老人保健拠出金、1 項で3,000 円の減。

6 款介護納付金、1 項で1,062 万3,000 円の減。

7 款共同事業拠出金、1 項で、4,760 万7,000 円の減。

8 款保健事業費1 項と2 項で329 万2,000 円の減。

歳出合計で1 億1,400 万円を減額し、歳出予算の総額を29 億7,200 万円とする
ものです。

次の「事項別明細書」、「1. 総括」については説明を省略し、7 ページの「2 歳入」
から説明します。

7 ページをお開きください。

「2 歳入」です。

款項の金額を省略し、目の補正額で説明します。

1 款国民健康保険税、1 項1 目一般被保険者国民健康保険税3,107 万9,000 円の
減。

2 目退職被保険者等国民健康保険税130 万円の減。

いずれも現時点での試算による収納見込みにより減額するものです。現年課税分の収納
率は95%で算出しております。

8 ページをお開きください。

2 款国庫支出金、1 項1 目療養給付費等負担金1,065 万5,000 円の減。

2 目高額医療費共同事業負担金63 万3,000 円の増。

3 目特定健康審査等負担金8 万円の減。

いずれも確定通知及び概算決定通知により増減するものであります。

2 項1 目財政調整交付金153 万2,000 円の増。制度改正に伴いますシステム改修
に係る費用について国の交付金を見込み増額するものであります。

次に9 ページです。

3 款療養給付費等交付金、1 項1 目療養給付費等交付金2,818 万4,000 円の減。
概算での決定通知によるものです。

4 款前期高齢者交付金、1 項1 目前期高齢者交付金2,268 万9,000 円の増。確定
通知によるものであります。

10 ページをお開きください。

5 款道支出金、1 項1 目高額医療費共同事業負担金63 万3,000 円の増。

2 目特定健康審査等負担金8 万円の減。

いずれも確定通知によるものです。

2 項1 目財政調整交付金1,736 万1,000 円の増。交付見込み額の精査によるもの
です。

6 款共同事業交付金、1 項1 目高額医療費共同事業交付金3,047 万6,000 円の
減。

2 目保険財政共同安定化事業交付金5,725 万9,000 円の減。

いずれも国保連合会からの交付決定通知に基づき、減額をするものです。

次に11 ページです。

7 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金 1 2 3 万 5, 0 0 0 円の増。各種繰入金の精査により増額をするものです。

8 款繰越金、1 項 1 目その他繰越金 9 7 1 万 4, 0 0 0 円の増。前年度繰越金の確定によるものです。

次に 1 2 ページをお開きください。

9 款諸収入、3 項 0 目歳入欠かん補填収入 8 6 8 万 4, 0 0 0 円の減は、本目廃目で、今回の補正によって財源の不足を解消できる見込みであることから減額をし、廃目とするものです。

1 3 ページをお開きください。

「3 歳出」です。同じく目の補正額で説明いたします。

1 款総務費、1 項 1 目一般管理費 3 4 万 5, 0 0 0 円の増。執行残の精査による減額及び平成 3 0 年度からの制度改正に伴うシステム改修に係る基本設計等のための負担金の増額によるものです。

2 目連合会負担金 4 万 6, 0 0 0 円の減。道国保連合会負担金の確定によるものです。

2 項徴税费、1 4 ページに続きます。1 目賦課徴収費 2 万 2, 0 0 0 円の減。執行残の精査による減額です。

2 目納税奨励費 5 2 万 5, 0 0 0 円の減。納税貯蓄組合事務費補助金の決定に伴う減額です。

3 項 1 目運営協議会費 3 1 万 9, 0 0 0 円の減。

4 項 1 目趣旨普及費 6 万 1, 0 0 0 円の減。

いずれも執行残の精査による減額です。

1 6 ページをお開きください。

2 款保険給付費、1 項 2 目退職被保険者等療養給付費 2, 1 5 0 万円の減。

2 項 1 目一般被保険者高額療養費、8 0 0 万円の増。

2 目退職被保険者等高額療養費、4 8 7 万 7, 0 0 0 円の減。

5 項 1 目出産育児一時金 8 1 0 万円の減。

これらにつきましては、いずれも年度途中までの実績と残りの月の推計値により試算を行い、増減をするものです。

次に 1 7 ページです。

3 款後期高齢者支援金等、1 項 1 目後期高齢者支援金 2, 5 3 4 万円の減。

4 款前期高齢者納付金等、1 項 1 目前期高齢者納付金 3 万円の減。

いずれも確定通知により減額をするものです。

1 8 ページをお開きください。

5 款老人保健拠出金、1 項 1 目老人保健事務費拠出金 3, 0 0 0 円の減。

6 款介護納付金、1 項 1 目介護納付金 1, 0 6 2 万 3, 0 0 0 円の減。

いずれも確定通知により減額をするものです。

次に 1 9 ページです。

7 款共同事業拠出金、1 項 1 目高額医療費共同事業医療費拠出金 2 5 3 万 2, 0 0 0 円の増。

2 目保険財政共同安定化事業拠出金 5, 0 1 3 万 9, 0 0 0 円の減。

いずれも国保連合会からの拠出金確定通知により減額するものです。

2 0 ページをお開きください。

8款保健事業費、1項1目健康増進指導事業費2万8,000円の減。

2項1目特定健康診査等事業費326万4,000円の減。

いずれも執行残の精査による減額です。

21ページをお開きください。

「補正予算給与費明細書」です。

「1特別職」は別海町国民健康保険運営協議会委員が該当するものです。

下段の比較の欄で申し上げます。職員数は補正前と変更はありません。

給与費の報酬で15万8,000円の減。

共済費はありませんので、合計で15万8,000円の減額となります。

以上で、議案第10号の内容説明を終わります。

○議長（松原政勝君） 議案第10号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

13番中村議員。

○13番（中村忠士君） 何回か指摘してきたところっていうか、話題になってきたところなんですけど、共同事業に関するのですが、補正前の交付金と拠出金の差はほとんどなくてね。こんなもんかなと。こういうことであれば、いいのかなっていうふうに思っていたら補正後はですね、拠出金のほうが約5,000万ほど上回ってるというような状況になったわけですね。

やっぱり持ち出しのほうがとても大きくなるっていうことに関しては、こういう状況がずっと続くということはいかなるものかなというふうに、私たちとしては思うわけですが、この点についての見解なりですね、それから今後こういうことがずっと続いて、制度そのものが変わっちゃうからね。また新たな境地に入っていくんだと思うんですが、こういう共同事業が、非常に私たちにとって負担になるような状況っていうものを、どう考えるかということについて見解をお聞きします。

○議長（松原政勝君） 町民課長。

○町民課長（青柳 茂君） お答えいたします。

先ほど中村議員のほうから、保険財政共同事業に関係しまして、拠出金が交付金を大きく上回っているということのお話かと思えますけれども、今現在の28年度の補正後の予算状況をちょっとお話しさせていただきたいと思うんですけれども、見通しということで、保険財政共同安定化事業でちょっと限定してお話をさせていただきたいと思いますが、交付金のほうはですね、7億700万円余りという見込み中で、拠出金が7億4,600万程度ということで、その差額がちょっと4,000万ほどあるという話だったので、3,800万ほど差があるのかなと思います。

それで、道ですね、調整交付金のほうでこの保険財政共同安定化事業の拠出金と交付金の差が大きい場合ですね、交付金額で拠出金を差額で割った場合に、一定割合を越えた場合、財政調整交付金として支援措置がございます。

今回の試算で約3,200万ほど財政調整交付金で措置される予定であります。

保険財政に限って交付金、拠出金、それから財政調整交付金での結果といいますか、しますと約1,600万ほど手出しが多いという状況になっておりまして、交付金と拠出金の差額が大きい部分は財政調整交付金で、全部ではありませんけれども埋められているような形になっております。

今後なんですけれども、うちの町で非常に医療費が大きくなった場合もやはり、この制度によって救われる場合もあるのかなと思いますので、お互いに助け合いというような考え方でいけば、必要な制度かなというふうに思っております。

以上です。

○議長（松原政勝君） 13番中村議員。

○13番（中村忠士君） ちょっと確認ですけれども、財政調整交付金で措置されるので、結局持ち出しが多くなる部分は1,000万程度だという説明だったのですが、共同事業全体で、そうなのかということを確認をしたいんです。

限定された言い方に聞こえたもんですから、そこら辺、共同事業全体でそういうことが言えるのかということをお聞きしたかったんですが、そこを1点確認したいというふうに思います。

共同事業だから、なかなか厳しいところにお金が回っていくと。いわば平等についていうことで相身互いの制度だからというような言い方もされたと思うんですが、今までずっと論議されてきた中でですね、できるだけ医療費がかからないように努力をしているという、こういう別海町の努力がですね、報われているのかっていうのが今までの論議だったと思うんですよ。

そういう点でのちょっとお答えがなかったからね、再度お聞きします。

○議長（松原政勝君） 町民課長。

○町民課長（青柳 茂君） 失礼いたしました。

先ほどの説明をですね、ちょっと訂正をさせていただきたいと思っておりますけれども、まず、交付金と拠出金の差額の部分で4,700万円ほどと申し上げました。

それ保険財政共同安定化事業に限ってというお話をさせてもらいましたけれども、高額医療費共同事業も含めての金額でございます。

その財政調整交付金後の1,610万7,000円を手出しというお話をさせてもらいましたけれども、共同事業に関係してちょっと説明をさせていただければ、足りない部分がありました。

高額医療費共同事業につきましては、道と国からそれぞれ3分の1ずつ交付金がございますので、その分を加味しますと高額医療費共同事業と保険財政化共同事業とあわせて交付金等を差し引きますと、入ってくるほうが3,500万ほどというような計算になっております。手出しではなくて交付金のほうが多いという、財政調整交付金で入ってくるほうが多くなるというような計算になっております。

医療費の削減等につきましてはですね、保健課を中心に努力をさせていただいている特定健診等も含めておりますけれども、そういった部分がこれには反映されていない、手出しが多くなるということでございますけれども、北海道全体で見ると別海町の医療が減るとそれだけ道全体の医療費も減っていくということなのかなと思います。

以上で説明を終わります。

○議長（松原政勝君） 副町長。

○副町長（佐藤次春君） ただいまの町民課長の説明の少し補足をさせていただきますけれども、中村議員質問のとおりですね、この予算で出ております収入のほうで申し上げますと共同事業の交付金総額で8億500万円しか入ってこないという予算なってますけれども、支出のほうでは共同事業の拠出金が8億5,300万ということで、その差が5,000万円ほど、比較だけをするですとですね、赤字になるのではないかなということなんです、

ただいま町民課長が御説明しましたように、共同事業に対しては国と道から一定程度の助成が受けられることになってまして、それらはちょっとこの予算の中ではちょっと隠れている部分がありますので、明確にちょっと数字としては出てこないんですけども、今回の補正で言いますと、10ページの道支出金の道補助金、財政調整交付金のところで特別財政調整交付金ですか、この3,100万というのが、その共同事業にかかわる分の補助金ということになりますけども、国の分はちょっと今回補正がないもんですから隠れてます。

それで別海町の医療費の問題等々を考えたときに、どうかということでありまして、この保険共同事業のことにつきましては過去にもいろいろ制度改正がありまして、高額医療費の場合は80万円以上のものっていうことでやってきてるんですが、それ以外のものについてはですね、以前は30万円以上ですとか、そういう制度のもとにやってきたときには、それらの交付金等拠出金を差引いてさらに国、道からの補助金をもらっても1億何千万ぐらいマイナスだったっていうことだったんですね。それらのいろんな制度改正があってですね、それも都道府県単位で運営してくということに向けて、いろんな見直しがされてきました。

それで2年ほど前だったと思いますが、今の保険財政共同安定化事業についてはレセプトを1円から全てこの事業の対象にしていくということになりましたね、より実態に近い数字で拠出をしたり交付を受けられるようになったということですね、うちの町にとっては大変いい見直しをしてもらったということで、現実的には27年度の決算も900万ほどの黒字で終了することができたというような経過もあります。

医療費を削減している、保健事業に取り組んでいる、そのようなことにつきましてはですね、また国のほうでですね、いろんな、その経営努力をしている市町村に対して特別調整交付金という形で交付されるものがあります。

それにつきましては、全道で限られた市町村が受けられるということになってるものから、今回のこの予算の中には組み込まれておりませんが、ここ数年、いろいろ町が取り組んでいることについては評価を受けてですね、国から特別調整交付金というのを受けているというのが実態です。

まだ確定していないもんですから、今回は予算化しておりませんが、そんなようなものですね、きちっと評価されているということですね、町にとりましてはのちのち、その決定を受ければですね、その分で、金額についてはちょっとまだはっきりしないんですけども、そういう交付金も受けられるということですね、町としてはしっかりそういう努力をしているということですね、理解してもらっていただけてというふうに判断しております。

以上です。

○議長（松原政勝君） ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

討論をございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第10号は原案のとおり可決されました。

◎日程第11 議案第11号

○議長(松原政勝君) 日程第11 議案第11号平成28年度別海町下水道事業特別会計補正予算(第2号)を議題といたします。

内容について説明を求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長(小島 実君) 議案第11号の内容説明をいたします。

別冊の平成28年度別海町下水道事業特別会計補正予算書の1ページをお開きください。

平成28年度別海町下水道事業特別会計補正予算(第2号)。

平成28年度別海町下水道事業特別会計の補正予算(第2号)は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の補正。

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2,550万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億6,930万円とする。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

第2条、債務負担行為の補正。

債務負担行為の廃止は、「第2表 債務負担行為補正」による。

第3条、地方債の補正。

地方債の変更は、「第3表 地方債補正」による。

2ページをお開きください。

「第1表 歳入歳出予算補正」の「歳入」です。補正額の欄で説明させていただきます。

初めに「歳入」です。

2款使用料及び手数料、1項と2項で184万9,000円の減。

3款国庫支出金、1項で626万3,000円の減。

4款繰入金、1項で881万9,000円の減。

6款諸収入1項と0項で26万9,000円の減。

7款町債、1項で830万円の減。

歳入合計で2,550万円を減額し、歳入予算の総額を6億6,930万円とするものです。

次に3ページ、「歳出」です。

1款総務費、1項で133万円の減。

2款下水道施設費、1項で1,022万5,000円の減。

3款集落排水施設費、1項と2項で1,387万4,000円の減。

4款公債費、1項で、7万1,000円の減。

歳出合計で2,550万円を減額し、歳出予算の総額を6億6,930万円とするもので

す。

次に4ページをお開きください。

「第2表 債務負担行為補正」の「廃止」です。

事項で、「平成28年度水洗便所改造等資金融資による金融機関に対する損失補償」と「別海町水洗便所改造資金融資条例に基づく金融機関に対する負担（平成28年度融資分）」の2項目について、借り入れ希望がなかったことによる廃止です。

続きまして5ページ。

「第3表 地方債補正」の「変更」です。

起債の目的、「特定環境保全公共下水道事業」、限度額「4,620万円」を410万円減額し、「4,210万円」とし、「農業集落排水事業」、限度額「440万円」を100万円減額し、「340万円」とし、「漁業集落排水事業」、限度額「5,440万円」を320万円減額し、「5,120万円」とするものです。

合計で限度額「1億500万円」を830万円減額し、「9,670万円」とするものです。

いずれも「起債の方法」、「利率」、「償還の方法」に変更はございません。

続きまして、「歳入歳出予算補正事項別明細書」ですが、7ページ、「1. 総括」は省略させていただき、「2. 歳入」から説明いたします。

9ページをお開きください。「2. 歳入」です。

款項の補正額は省略し、目の欄で説明させていただきます。

2款使用料及び手数料、1項1目使用料185万3,000円の減。

2項1目手数料4,000円の増は、いずれも決算見込みによるものです。

3款国庫支出金、1項1目下水道施設費補助金192万7,000円の減は、北方領土隣接地域振興事業嵩上げ補助金による上積みがありましたが、事業費確定による減額です。

2目集落排水施設費補助金433万6,000円の減は、事業費確定による減額です。

10ページをお開きください。

4款繰入金、1項1目繰入金881万9,000円の減は、歳出の減額に伴う一般会計繰入金の減額です。

6款諸収入、1項1目雑入43万1,000円の増は、別海終末処理場の工事に係る発生材の売り払いと下水道管、清掃に係る負担金の増額です。

0項0目貸付金70万円の減は、水洗便所改造資金の借入希望者がなかったことによる減額です。科目廃目と廃項とします。

7款町債、1項1目下水道施設債410万円の減。

2目集落排水施設債420万円の減は、いずれも町債確定による減額です。

11ページをお開きください。

「3. 歳出」。こちらも目の欄で説明させていただきます。

1款総務費、1項1目一般管理費63万円の減は下水道管理経費確定による執行残の減額です。

0目水洗化普及費70万円の減は、水洗便所改造資金の借り入れ希望者がなかったことによる減額です。本目廃目です。

12ページをお開きください。

2款下水道施設費、1項1目処理場費435万1,000円の減。

3目施設整備費587万4,000円の減は、いずれも管理経費及び事業費確定による執行残の減額です。

続いて13ページ。

3款集落排水施設費、1項1目処理場費124万1,000円の減。

3目施設整備費222万1,000円の減は、いずれも管理経費及び事業費確定による執行残の減額です。

14ページをお開きください。

2項1目処理場費323万6,000円の減は、管理経費確定による執行残の減額です。

続いて15ページ。

3目施設整備費717万6,000円の減は、事業費確定による執行残の減額です。

4款公債費、1項2目利子7万1,000円の減は、額の確定による減額です。

以上で、議案第11号の内容説明を終わります。

○議長（松原政勝君） 議案第11号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第11号は原案のとおり可決されました。

◎日程第12 議案第12号

○議長（松原政勝君） 日程第12 議案第12号平成28年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

内容について説明を求めます。

老人保健施設事務長。

○老人保健施設事務長（伊藤輝幸君） 議案第12号平成28年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）の内容について御説明をいたします。

別冊の別海町介護サービス事業特別会計補正予算書1ページをお開き願います。

平成28年度別海町介護サービス事業特別会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の補正。

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ320万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億8,790万円とする。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳

出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

2ページをお開き願います。

「第1表 歳入歳出予算補正」です。

まず「歳入」です。補正額の欄で申し上げます。

1款介護サービス費、1項で127万8,000円の減。

2款使用料及び手数料、1項と2項で272万7,000円の増。

3款財産収入、1項で、9万4,000円の減。

4款繰入金、1項で450万円の減。

6款諸収入、1項で5万5,000円の減。

歳入合計で320万円を減額し、補正後の予算額を4億8,790万円とするものです。

続きまして下段「歳入」です。

1款介護サービス事業費、1項で320万円の減。

歳入合計で320万円を減額し、補正後の予算額を4億8,790万円とするものです。

次に「歳入歳出予算補正事項別明細書」で、「1. 総括」は説明を省略させていただき、「2歳入」、「3歳出」で御説明をいたします。

5ページをお開き願います。

歳入歳出とも、目の補正額で申し上げます。

「2歳入」です。

1款介護サービス費、1項1目施設介護サービス費65万円の増は、老人保健施設の入所者数が当初推計より増加したことによるものです。

2目居宅介護サービス費192万8,000円の減は、老人保健施設の短期入所利用者の減少及び訪問看護ステーションの利用者の減少によるものです。

6ページをお開き願います。

2款使用料及び手数料、1項1目施設介護サービス使用料190万円の増は、老人保健施設の入所者の増加によるものです。

2目居宅介護サービス使用料25万円の減は、老人保健施設の短期入所利用者の減少によるものです。

2項1目居宅サービス手数料107万7,000円の増は、訪問看護ステーションの介護保険分の利用者は減少したものの、医療保険分の利用者及び単価が増加したことによるものです。

続きまして7ページになります。

3款財産収入、1項1目財産貸付収入9万4,000円の減は、医師及び医療技術員住宅の入居者減に伴う住宅貸付収入の減によるものです。

4款繰入金、1項1目繰入金450万円の減は、歳入予算に対する歳出予算超過分を減額補正するものです。

8ページをお開き願います。

6款諸収入、1項1目雑入5万5,000円の減は、今後の収入見込みを推計し減額をするものです。

続きまして「歳出」となります。

9ページをお開き願います。

1 款介護サービス事業費、1 項1 目老人保健施設費2 3 4 万円の減。1 0 ページにわたります。設備整備事業の額の確定、運営経費におけます医薬材料費、給食業務委託料の減額が主な要因です。なお、管理経費における燃料費の増額は、重油使用料が当初推計より増加したことによるものです。その他執行残及び今後の支出見込みの精査による減額補正となっております。

1 0 ページをお開き願います。

2 目訪問看護費8 6 万円の減。執行残及び今後の支出見込みの精査による減額補正です。

以上、議案第1 2 号の内容説明を終わります。

○議長（松原政勝君） 議案第1 2 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第1 2 号は原案のとおり可決されました。

◎日程第1 3 議案第1 3 号

○議長（松原政勝君） 日程第1 3 議案第1 3 号平成2 8 年度別海町介護保険特別会計補正予算（第2 号）を議題といたします。

内容について説明を求めます。

介護支援課長。

○介護支援課長（今野健一君） 議案第1 3 号の内容説明をいたします。

別冊の平成2 8 年度別海町介護保険特別会計補正予算書1 ページをお開きください。

平成2 8 年度別海町介護保険特別会計補正予算（第2 号）。

平成2 8 年度別海町介護保険特別会計の補正予算（第2 号）は、次に定めるところによる。

第1 条、歳入歳出予算の補正。

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ9, 2 8 0 万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1 0 億3, 6 2 0 万円とする。

2 項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1 表 歳入歳出予算補正」による。

次に、3 ページをお開きください。

「第1 表 歳入歳出予算補正」です。

まず「歳入」です。補正額の欄で申し上げます。

1 款保険料、1 項で 9 6 1 万 2, 0 0 0 円の増。

2 款分担金及び負担金、1 項で 2 0 万円の減。

3 款国庫支出金、1 項と 2 項で 2, 7 6 7 万 8, 0 0 0 円の減。

4 款支払基金交付金、1 項で、3, 5 7 5 万 3, 0 0 0 円の減。

5 款道支出金、1 項と 2 項で 1, 8 6 1 万 5, 0 0 0 円の減。

7 款繰入金、1 項で 2, 0 1 6 万 6, 0 0 0 円の減。

歳入合計で 9, 2 8 0 万円を減額し、補正後の予算額を 1 0 億 3, 6 2 0 万円とするものです。

次に、4 ページをお開きください。

「歳出」です。

1 款総務費、1 項から 3 項で 8 3 万 2, 0 0 0 円の減。

2 款保険給付費、1 項で 8, 8 1 6 万円の減。

3 款地域支援事業費、1 項で 3 8 0 万 8, 0 0 0 円の減。

歳出合計で 9, 2 8 0 万円を減額し、補正後の予算額を 1 0 億 3, 6 2 0 万円とするものです。

次の「歳入歳出予算補正事項別明細書」ですが、「1. 総括」につきましては説明を省略し、7 ページの「歳入」から説明いたします。

「2 歳入」、款項の金額につきましては省略しまして、目の金額で説明いたします。

1 款保険料、1 項 1 目第 1 号被保険者保険料 9 6 1 万 2, 0 0 0 円の増。保険料収納実績による特別徴収保険料の増額によるものです。

2 款分担金及び負担金、1 項 1 目負担金 2 0 万円の減。介護予防事業及び包括的支援事業の利用実績によるものです。

8 ページをお開きください。

3 款国庫支出金、1 項 1 目介護給付費負担金 2, 1 2 8 万 3, 0 0 0 円の減。

2 項 1 目調整交付金 5 0 0 万 1, 0 0 0 円の減は、いずれも保険給付費の減によるものです。

2 目介護予防事業交付金 8 5 万 9, 0 0 0 円の減。

3 目包括的支援事業交付金 8 6 万 5, 0 0 0 円の減は、いずれも地域支援事業費の減によるものです。

4 目介護保険事業補助金 3 3 万円の増は、本目新設で、介護保険制度の改正に伴う介護保険システム改修事業に係る補助金です。

4 款支払基金交付金、1 項 1 目介護給付費交付金 3, 4 9 0 万 8, 0 0 0 円の減。

2 目介護予防事業交付金 8 4 万 5, 0 0 0 円の減。

続いて 9 ページ。

5 款道支出金、1 項 1 目介護給付費負担金 1, 7 7 5 万 2, 0 0 0 円の減。

2 項 1 目介護予防事業交付金 4 3 万円の減。

2 目包括的支援事業交付金 4 3 万 3, 0 0 0 円の減。

7 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金 2, 0 1 6 万 6, 0 0 0 円の減につきましては、いずれも保険給付費及び地域支援事業費の減によるものです。

1 1 ページをお開きください。

「3 歳出」です。

1 款総務費、1 項 1 目一般管理費 6 9 万 5, 0 0 0 円の増。介護保険システム改修費 7

5万6,000円の増及び執行残の精査によるものです。

2目地域支援事業事務費10万8,000円の減。

2項1目賦課徴収費9万7,000円の減。

続いて12ページ。

3項1目介護認定審査会費5万9,000円の減。

2目認定調査費126万3,000円の減は、いずれも支出見込みの精査によるものです。

14ページをお開きください。

2款保険給付費、1項1目介護サービス費7,776万円の減。今年度は認知症対応型グループホームが新たに開設されたことなどに伴う地域密着型介護サービス給付費2,100万円の増、及び介護サービス給付実績をもとに今後の支出見込みを推定し減額とするものです。

2目予防サービス費990万円の減。

4目高額介護サービス費50万円の減は、本年度の給付実績により、今後の支出見込みを推計し減額とするものです。

16ページをお開きください。

3款地域支援事業費、1項1目介護予防事業費212万2,000円の減。

こちらも利用実績により、今後の支出見込みを推計し減額とするものです。

2目包括的支援事業費168万6,000円の減。こちらも支出見込みの精査によるものです。

以上で、議案第13号の内容説明を終わります。

○議長（松原政勝君） 議案第13号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第13号は原案のとおり可決されました。

ここで会議を10分間休憩いたします。

午後 3時00分 休憩

午後 3時09分 再開

○議長（松原政勝君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

◎日程第14 議案第14号

○議長（松原政勝君） 日程第14 議案第14号平成28年度別海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

内容について説明を求めます。

町民課長。

○町民課長（青柳 茂君） 議案第14号の内容説明をいたします。

それでは、別冊の平成28年度別海町後期高齢者医療特別会計補正予算書の1ページをお開き願います。

平成28年度別海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）。

平成28年度別海町後期高齢者医療特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の補正。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ130万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億5,220万円とする。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

2ページをお開きください。

「第1表 歳入歳出予算補正」です。補正額の欄で申し上げます。

まず「歳入」です。

1款後期高齢者医療保険料、1項で414万2,000円の増。

2款繰入金、1項で336万円の減。

3款繰越金、1項で51万8,000円の増。

歳入合計で130万円を追加し、歳入予算の総額を1億5,220万円とするものです。

次に、下段の「歳出」です。

1款総務費、1項と2項で12万7,000円の減。

2款後期高齢者医療広域連合納付金、1項で142万7,000円の増。

歳出合計で130万円を追加し、歳出予算の総額を1億5,220万円とするものです。

次の「事項別明細書」、「1. 総括」については説明を省略し、5ページ、「2歳入」から説明します。

5ページをお開きください。

「2歳入」です。

款項の金額を省略し、目の補正額で説明します。

1款後期高齢者医療保険料、1項1目特別徴収保険料105万4,000円の減。

2目普通徴収保険料、519万6,000円の増。

いずれも現時点での収納見込みによるものです。

2款繰入金、1項1目一般会計繰入金336万円の減。事務費繰入金の精査及び保険基盤安定繰入金の確定によるもので、6ページをお開きください。

3款繰越金、1項1目繰越金51万8,000円の増。前年度繰越金の確定による増額です。

以上で、歳入を終わります。

7ページをお開きください。

「3歳出」です。同じく目の補正額で説明します。

1 款総務費、1 項 1 目一般管理費 1 1 万 2, 0 0 0 円の減。

2 項 1 目徴収費 1 万 5, 0 0 0 円の減。

いずれも執行残の精査による減額です。

次に 8 ページをお開きください。

2 款後期高齢者医療広域連合納付金、1 項 1 目後期高齢者医療広域連合納付金 1 4 2 万 7, 0 0 0 円の増。北海道後期高齢者医療広域連合に納付する各種負担金の一部確定及び見込み額の精査によるものです。

以上で、議案第 1 4 号の内容説明を終わります。

○議長（松原政勝君） 議案第 1 4 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第 1 4 号は原案のとおり可決されました。

◎日程第 1 5 議案第 1 5 号

○議長（松原政勝君） 日程第 1 5 議案第 1 5 号平成 2 8 年度町立別海病院事業会計補正予算（第 2 号）を議題といたします。

内容について説明を求めます。

病院事務課長。

○病院事務課長（大槻祐二君） それでは、議案第 1 5 号の内容説明をいたします。

別冊の町立別海病院事業会計補正予算書の 1 ページをお開き願います。

平成 2 8 年度町立別海病院事業会計補正予算（第 2 号）。

第 1 条、総則。

平成 2 8 年度町立別海病院事業会計の補正予算（第 2 号）は、次に定めるところによる。

第 2 条、業務の予定量。

予算第 2 条の業務の予定量を、次のとおり改める。

2 項、年間患者数、1 号、入院、1, 4 6 0 人減で 2 万 2, 9 9 5 人とする。

2 号、外来、4, 3 8 8 人減で 7 万 3, 6 6 0 人とする。

3 項、一日平均患者数、1 号、入院、4 人減で 6 3 人とする。

2 号、外来、1 8 人減で 3 0 2 人とする。

第 3 条、収益的収入及び支出。

予算第3条の収益的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

収入の第1款病院事業収益、1項、2項合わせて1億6,468万9,000円を減額し、合計で20億5,502万2,000円とする。

次に、支出の第1款病院事業費用、1項、2項合わせて5,515万1,000円を減額し、合計で22億7,251万5,000円とする。

続きまして、2ページをお開きください。

第4条、資本的収入及び支出。

予算第4条の資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額8,000万4,000円は過年度分損益勘定留保資金8,000万4,000円で補てんするものとする。）。

収入の第1款資本的収入は、1項、2項合わせて111万1,000円を増額し、1億3,253万3,000円とするものです。

第5条、議会の議決を経なければ流用することのできない経費。

予算第6条に掲げる経費を次のとおり改める。

1号、職員給与費を5,002万9,000円減額し、12億9,754万6,000円とする。

第6条、他会計からの補助金。

予算第7条に掲げる金額を次のとおり改める。

1号、医師及び看護師等の研究研修に要する経費、351万9,000円。

2号、病院事業職員の基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費、2,231万1,000円。

3号、病院事業職員の追加費用負担金に要する経費、1,029万2,000円。

4号、児童手当に要する経費、463万円。

5号、院内保育所に要する経費、1,936万8,000円。

6号、医師の派遣を受けることに要する経費3,554万1,000円。

次に、3ページからの「補正予算実施計画」は省略させていただきまして、補正予算に関する説明書です。

5ページをお開きください。

「平成28年度町立別海病院事業会計補正予算実施計画説明書」です。

先ほど款項で説明いたしましたので、目の補正額で説明させていただきます。

「収益的収入及び支出」の「収入」です。

1款病院事業収益、1項1目入院収益2,876万2,000円の減は、入院患者数件数見込みによる減額です。

2目外来収益2,615万1,000円の減についても、外来患者数の件数見込みにより減額とするものです。

3目その他医業収益961万6,000円の減は公衆衛生活動収益、検診などの決算見込みによる減額でございます。

2項2目他会計補助金598万6,000円の減は、決算見込みによるものです。

4目負担金交付金1,427万5,000円の増は、収支の決算見込みによる一般会計負担金の増額です。

5目患者外給食収益35万5,000円の減は、決算見込みによるものです。

6目長期前受金戻入1億301万3,000円の減は、当初算定基準の精査による減額

となっております。

7目その他医業外収益508万1,000円の減は、決算見込みによる減額でございます。

6ページをお開きください。

「支出」です。

1款病院事業費用、1項1目給与費5,002万9,000円の減は、7ページ下段までとなりますが、支出見込み額精査による減額でございます。

7ページ。

3目経費800万1,000円の減、及び6目研究研修費131万4,000円の減は、決算見込みによるものでございます。

8ページをお開きください。

2項1目支払利息及び企業債取扱諸費12万4,000円の減は、一時借入れを行えないことによる減額でございます。

2目雑損失431万7,000円の増は、決算見込みによるものです。

続きまして9ページです。

「資本的収入及び支出」の「収入」です。

1款資本的収入、1項1目他会計出資金71万1,000円の増は、建設改良費の事業費確定に伴う一般会計出資金の増額です。

2項1目補助金40万円の増についても事業費確定による国庫補助金の増額でございます。

続きまして、10ページです。

「平成28年度補正予算町立別海病院事業会計予定キャッシュ・フロー計算書（間接法）」です。

現金の流れを示した表になります。

右側の下段の部分で説明いたします。

「資本金増加額」の見込みで7,326万8,000円の減額となり、「資金期末残高」で7,927万8,000円となる予定でございます。

続きまして、11ページ。

「給与費明細書」です。

「1. 総括」、下段の比較、合計欄で説明いたします。

職員数については、補正前、補正後と変更ございません。

給料1,153万7,000円の減。

報酬・賃金1,698万8,000円の減。

手当1,122万6,000円の減。

法定福利費で1,027万8,000円の減。

合計で5,002万9,000円を減額し、給与費合計で12億9,754万6,000円とするものです。

以下、15ページまで省略させていただきます。

16ページをお開きください。

「平成28年度町立別海病院事業予定損益計算書」です。

右下、下段の下から3行目をごらんください。

「当年度純損失」の見込みとして、1億8,728万円となる予定です。

1番下の「当年度未処理欠損金」が21億4,422万2,000円となる見込みです。

17ページの「平成28年度町立別海病院事業予定貸借対照表」と18ページの「注記表」の説明は省略させていただきます。

以上で、議案第15号の内容説明を終わります。

○議長（松原政勝君） 議案第15号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第15号は原案のとおり可決されました。

◎日程第16 議案第16号

○議長（松原政勝君） 日程第16 議案第16号平成28年度別海町水道事業会計補正予算（第3号）を議題といたします。

内容について説明を求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（小島 実君） 議案第16号の内容説明をいたします。

別冊の平成28年度別海町水道事業会計補正予算書の1ページをお開きください。

平成28年度別海町水道事業会計補正予算（第3号）。

第1条、総則。

平成28年度別海町水道事業会計の補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

第2条、収益的収入及び支出。

予算第3条の収益的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

収益的収入です。

1款水道事業収益、1項と2項で8,019万8,000円を増額し、10億7,653万2,000円とするものです。

収益的支出です。

1款水道事業費用、1項で1億61万円を増額し、8億5,746万3,000円とするものです。

第3条、資本的収入及び支出。

予算第4条の資本的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。（資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額8億2,932万5,000円は、減債積立金1億4,410万9,000円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,517万5,0

00円、過年度分損益勘定留保資金6億4,004万1,000円で補てんするものとする。))

資本的収入です。

1款資本的収入、1項で992万1,000円を減額し、497万9,000円とするものです。

資本的支出です。

1款資本的支出、1項で4,004万3,000円を減額し、8億3,430万4,000円とするものです。

第4条、議会の議決を経なければ流用することのできない経費。

予算第8条に定めた経費の金額を、次のとおり改める。

2号、交際費5万円を減額し、ゼロとするものです。

2ページをお開きください。

第5条、たな卸資産購入限度額。

予算第9条に定めたたな卸資産の購入限度額「3,188万9,000円」を、「1,888万9,000円」に改める。

第6条、重要な資産の取得及び処分。

予算第10条に定めた重要な資産の取得及び処分を、次のとおり改める。

1号、取得する資産。

補正後の数量で説明します。

種類、構築物、配水管、管径75ミリから500ミリ、延長8万9,727.81メートル。

3段目、量水器室5基。

次の量水器室門扉フェンス5箇所。

種類で、機械及び装置、6段目になりますテレメーター以下、計装監視盤、引込開閉基盤、無線装置がそれぞれ一式。

次の水位計、水位調整弁がそれぞれ2個に改めます。

次に2号、処分する資産。

補正後の総量で説明します。

種類、総理構築物、配水管、管径50ミリから350ミリ、延長8万9,937.24に改めるものでございます。

3ページ、4ページの「平成28年度別海町水道事業会計補正予算実施計画」の説明は省略をさせていただきます。

5ページをお開きください。

「平成28年度別海町水道事業会計補正予算実施計画説明書」です。

款項の補正額は省略し、目の欄で説明させていただきます。

「収益的収入及び支出」。

初めに、「収入」です。

1款水道事業収益、1項1目給水収益534万6,000円の減は、決算見込みによる減額です。

2目受託工事収益14万9,000円の減。

3目その他の営業収益35万9,000円の減は、いずれも決算見込みによる減額です。

2項1目受取利息及び配当金43万5,000円の増。

2目負担金7万2,000円の増は、いずれも決算見込みによる増額です。

3目長期前受金戻入9,341万9,000円の増は、現金を伴わない科目ですが、国営かんがい排水事業別海南部地区の資産除去の精査による補助金、負担金、受贈財産評価分の収益化の額の見込み増でございます。

4目雑収益5万6,000円の増は、賞与引当金の戻入による増額です。

5目消費税及び地方消費税還付金793万円の減は、執行見込みによる減額です。

6ページをお開きください。

「支出」です。

1款水道事業費用、1項1目原水及び浄水費150万円の減。

2目配水及び給水費497万3,000円の減。

4目総係費179万7,000円の減は、いずれも執行残による減額が主なものです。

5目減価償却費759万9,000円の減は、現金を伴わない科目でございますが、国営かんがい排水事業別海南部地区完了に伴う償却資産に係る償却費精査見込みによる減額です。

6目資産減耗費、1億1,647万9,000円の増は、これも現金を伴わない科目でございますが、国営かんがい排水事業別海南部地区完了に伴う配水管や量水器等の固定資産除去費確定見込みによる増額です。

続いて8ページ。

「資本的収入及び支出」の「収入」です。

1款資本的収入、1項1目工事負担金992万1,000円の減は、水道施設移転補償費の確定による減額です。

次に「支出」です。

1款資本的支出、1項1目事務費27万2,000円の減。

2目施設費、2,515万2,000円の減。

3目量水器設置費1,224万4,000円の減。

4目固定資産購入費、237万5,000円の減は、いずれも執行残による減額です。

8ページをお開きください。

「平成28年度別海町水道事業予定キャッシュ・フロー計算書」です。

現金の流れを示した表になります。

下から3行目をごらんください。

「資産増減額」の見込みです。3億1,331万円の減額となり、下段「資金期末残高」で、24億5,062万5,000円となる予定です。

資金減少の要因といたしましては、国営事業の別海南部地区完了負担金や北部地区共同事業負担金と水道管移設等の建設改良費が主なものです。

次に9ページをごらんください。

「平成28年度別海町水道事業予定損益計算書」です。

下から4行目をごらんください。

「当年度純利益」の見込みです。1億7,389万4,000円となる予定です。

10ページの「平成28年度別海町水道事業予定貸借対照表」と11ページの「注記表」の説明については省略させていただきます。

以上で、議案第16号の内容説明を終わります。

○議長（松原政勝君） 議案第16号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第16号は原案のとおり可決されました。

◎日程第17 選挙第1号

○議長（松原政勝君） 日程第17 選挙第1号別海町選挙管理委員及び補充員の選挙を行います。

本件は、選挙管理委員及び補充員が3月18日で任期満了になることに伴い、地方自治法第182条第1項及び第2項の規定に基づき、選挙をするものであります。

ここでお諮りします。

選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選の方法を用いることにしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選にすることに決定いたしました。

お諮りします。

指名の方法については、議長において指名することにしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議長において指名することに決定いたしました。

それでは、指名いたします。

選挙管理委員に高崎好藏さん、鎌田敦子さん、永野英俊さん、廣島朋子さんを指名いたします。

お諮りします。

ただいま議長指名した方を選挙管理委員の当選人とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名しました高崎好藏さん、鎌田敦子さん、永野英俊さん、廣島朋子さんが選挙管理委員に当選されました。

次に、選挙管理委員の補充員には、次の方を指名いたします。

第1順位、三原眞佐子さん、第2順位、阿部隆美さん、第3順位、櫻井弘さん、第4順位、北島和治さん、以上の方を指名いたします。

お諮りします。

ただいま議長指名した方を選挙管理委員の補充員の当選人とすることに、御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名しました第1順位、三原眞佐子さん、第2順位、阿部隆美さん、第3順位、櫻井弘さん、第4順位、北島和治さん、以上の方は順序のとおり選挙管理委員の補充員に当選されました。

ここでお諮りします。

ただいま町長から議案第42号が提出されました。

これを日程に追加し、追加日程第1として議題にしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第42号を日程に追加し、追加日程第1として議題とすることに決定いたしました。

準備ができるまで暫時休憩をいたします。

午後 3時42分 休憩

午後 3時43分 再開

○議長(松原政勝君) 会議を再開いたします。

◎委員会付託省略の議決

○議長(松原政勝君) ここでお諮りします。

ただいま提出されました追加日程第1 議案第42号については、会議規則第39条第3項の規定に基づき、委員会の付託は省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、追加日程第1 議案第42号については、委員会の付託は省略することに決定しました。

◎追加日程第1 議案第42号

○議長(松原政勝君) 追加日程第1 議案第42号平成28年度別海町一般会計補正予算(第6号)を議題といたします。

内容について説明を求めます。

財政課主幹。

○財政課主幹(寺尾真太郎君) 議案第42号の内容を御説明いたします。

追加で御提出させていただきました平成28年度一般会計補正予算書(第6号)の1

ページをお開きください。

平成28年度別海町一般会計補正予算（第6号）。

平成28年度別海町一般会計補正予算（第6号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の補正。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,400万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ224億5,660万円とする。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

2ページをお開きください。

「第1表 歳入歳出予算補正」。

「歳入」で、補正額の欄で申し上げます。

15款道支出金、2項で213万2,000円の増。

20款諸収入、5項で1,186万8,000円の増。

歳入合計で1,400万円を追加。

「歳出」で、6款農林水産業費、2項で1,400万円の増。

歳出合計で1,400万円を追加し、歳入歳出予算の補正後の予算額を、いずれも224億5,660万円とするものです。

次に「歳入歳出補正予算事項別明細書」ですが、「1. 総括」は省略させていただきまして、「2歳入」から御説明いたします。

5ページをお開きください。

「2歳入」です。目の欄で御説明いたします。

15款道支出金、2項4目農林水産業費補助金、213万2,000円の増。

続いて、20款諸収入、5項1目雑入1,186万8,000円の増は、今回の補正に伴います財源として、北海道の自給飼料生産拡大緊急整備事業補助金の増、及び畜産担い手総合整備型再編整備事業費追加に伴います受益者償還収入の増となります。

次に7ページをお開きください。

「歳出」です。

6款農林水産業費、2項1目広域農業推進費1,400万円の増は、補正予算第5号の編成後におきまして、畜産担い手総合整備型再編整備事業の追加、調整の必要が生じたため、それに伴う増額となります。

以上で、議案第42号の内容説明を終わります。

○議長（松原政勝君） 議案第42号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

- 議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。
したがって、議案第42号は原案のとおり可決されました。
-

◎散会宣言

- 議長(松原政勝君) 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。
本日は、これで散会します。
なお、あすは午前10時から本会議を行いますので、御参集願います。
皆さん御苦労さまでございました。

散会 午後 3時49分

上記は、地方自治法第123条の規定により会議の次第を記載したものである。

平成 年 月 日

署名者

別海町議会議長

議員

議員

議員